

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第36週 >

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-12

< RSウイルス感染症 >

2013年の報告数は第25週から徐々に増加傾向がみられ、第36週の報告数は2,551例となった。

< パラチフス - カンボジア渡航後の感染者増加 >

パラチフスA菌の感染によって起こる全身性感染症で、2013年は8月末までで累積36例が報告されている。



病原体情報
P.13-15

RSウイルス 2010～2013年



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.16-18

世界におけるインフルエンザ流行状況



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(36週)
P.20-25



36週のデータ
P.26-39



発生動向総覧

< 第36週コメント > 9月11日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核406例

3類感染症

細菌性赤痢3例

菌種: *S. sonnei* (D群) 3例__感染地域: 東京都1例、中国1例、モンゴル1例

腸管出血性大腸菌感染症180例(有症者117例、うちHUS なし)

感染地域: 国内177例、インドネシア1例、タイ/カンボジア1例、英国/フィンランド/オーストリア1例

国内の多い感染地域: 宮崎県25例*、宮城県22例**、福島県21例***、北海道14例、兵庫県8例#、愛知県5例、大阪府5例、福岡県5例、千葉県4例

* 第35週に報告された保育園における集団感染例を含む(O26 VT1とO103 VT1)

** 保育園における集団感染例を含む(O111 VT1・VT2)

*** 保育園における集団感染例を含む(O26 VT1)

スポーツの合同練習に関連した集団感染例を含む(O157 VT1・VT2)

年齢群: 0歳(4例)、1歳(21例)、2歳(15例)、3歳(19例)、4歳(8例)、5歳(17例)、6歳(10例)、7歳(2例)、8歳(4例)、9歳(2例)、10代(22例)、20代(11例)、30代(17例)、40代(7例)、50代(9例)、60代(7例)、70代(2例)、80代(3例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(46例)、O26 VT1(42例)、O111 VT1・VT2(15例)、O157 VT2(11例)、O103 VT1(8例)、O121 VT2(8例)、O157 VT1(4例)、O26 VT2(2例)、O26 VT不明(2例)、O111 VT1(2例)、O157 VT不明(2例)、O115 VT1(1例)、O124 VT1(1例)、O128 VT2(1例)、O145 VT2(1例)、O145 VT不明(1例)、その他・不明(33例)

累積報告数: 2,726例(有症者1,866例、うちHUS 52例 . 死亡2例)

腸チフス2例

感染地域: 東京都1例、インドネシア1例

4類感染症

- A型肝炎2例 感染地域: エジプト/タイ1例、フィリピン1例
 重症熱性血小板減少症候群2例
 感染地域: 広島県1例、徳島県1例
 年齢群: 70代(1例)、80代(1例 . 死亡)
 つつが虫病1例 感染地域: 東京都
 デング熱2例 感染地域: タイ1例、インドネシア1例
 日本紅斑熱3例 感染地域: 三重県1例、広島県1例、山口県1例
 マラリア1例 熱帯熱__感染地域: シエラレオネ
 ライム病1例 感染地域: 新潟県
 レジオネラ症26例(肺炎型26例)
 感染地域: 埼玉県3例、群馬県2例、富山県2例、愛知県2例、大阪府2例、北海道1例、栃木県1例、千葉県1例、東京都1例、神奈川県1例、新潟県1例、石川県1例、山梨県1例、長野県1例、岐阜県1例、兵庫県1例、福岡県1例、熊本県1例、大分県1例、国内(都道府県不明)1例
 年齢群: 50代(7例)、60代(11例)、70代(3例)、80代(3例)、90代(2例)
 レプトスピラ症2例 感染地域(感染源): 東京都1例(職場環境)、沖縄県1例(台風後の河川)

5類感染症

- アメーバ赤痢16例(腸管アメーバ症13例、腸管外アメーバ症2例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)
 感染地域: 千葉県2例、新潟県1例、兵庫県1例、香川県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)5例、タイ1例、フィリピン1例、インド1例、中国/南アフリカ共和国1例、フィリピン/香港1例
 感染経路: 性的接触1例(異性間・同性間不明)、経口感染4例、不明11例
 ウイルス性肝炎5例 B型4例__感染経路: 性的接触2例(異性間2例)、不明2例
 C型1例__感染経路: 性的接触(異性間)
 急性脳炎4例 アデノウイルス1例__年齢群: 8歳
 RSウイルス1例__年齢群: 0歳
 病原体不明2例__年齢群: 1歳(1例)、4歳(1例)
 クロイツフェルト・ヤコブ病3例
 孤発性プリオン病古典型3例
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例
 年齢群: 30代(1例 . 死亡)、40代(2例 . うち1例死亡)、50代(1例 . 死亡)、60代(1例)、70代(2例 . うち1例死亡)
 後天性免疫不全症候群21例(AIDS 8例、無症候10例、その他3例)
 感染地域: 国内18例、タイ1例、国内・国外不明2例
 感染経路: 性的接触20例(異性間6例、同性間11例、異性/同性間3例)、不明1例
 ジアルジア症1例 感染地域: 国内(都道府県不明)

侵襲性髄膜炎菌感染症1例(菌検出検体 : 血液)

感染地域 : 東京都

年齢群 : 50代

侵襲性肺炎球菌感染症2例(うち肺炎、髄膜炎の有症状者なし__菌検出検体 : 血液2例)

年齢群 : 60代(1例)、70代(1例 . 死亡)

梅毒23例(早期顕症I期3例、早期顕症II期9例、無症候11例)

破傷風2例

年齢群 : 60代(1例)、70代(1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例

遺伝子型 : *VanC* 1例(死亡)__菌検出検体 : 血液

遺伝子型 : 不明2例__菌検出検体 : 尿2例

風しん37例(検査診断例29例、臨床診断例8例)

感染地域 : 東京都9例、大阪府5例、兵庫県2例、福岡県2例、宮城県1例、福島県1例、千葉県1例、神奈川県1例、愛知県1例、和歌山県1例、広島県1例、佐賀県1例、大分県1例、国内(都道府県不明)10例

年齢群 : 5 ~ 9歳(1例)、15 ~ 19歳(2例)、20 ~ 24歳(8例)、25 ~ 29歳(8例)、30 ~ 34歳(2例)、35 ~ 39歳(4例)、40代(9例)、50代(1例)、60代(2例)

累積報告数 : 13,987例(検査診断例9,604例、臨床診断例4,383例)

麻しん6例〔麻しん(検査診断例4例)、修飾麻しん2例〕

感染地域 : 愛知県4例、埼玉県1例、神奈川県1例

年齢群 : 1歳(1例)、5 ~ 9歳(1例)、10 ~ 14歳(1例)、15 ~ 19歳(1例)、20 ~ 24歳(1例)、35 ~ 39歳(1例)

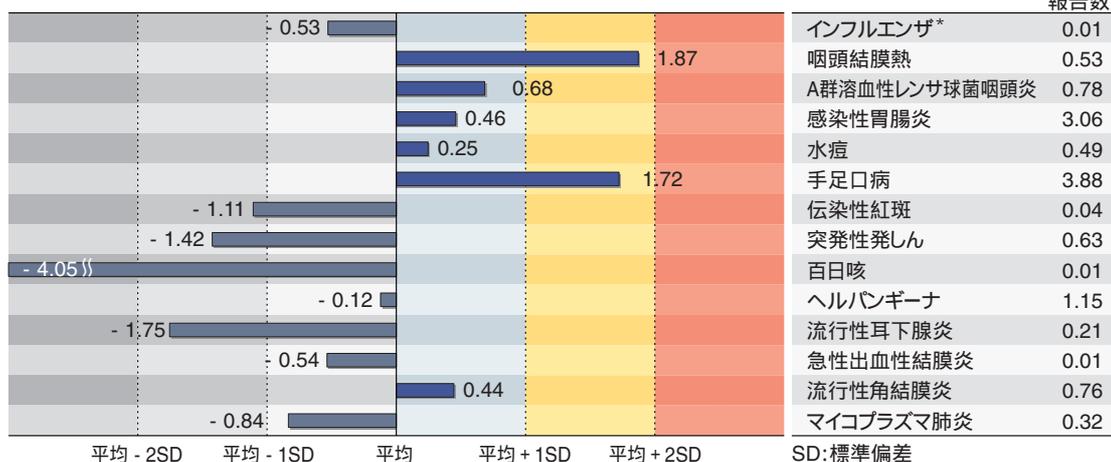
累積報告数 : 196例〔麻しん(検査診断例80例、臨床診断例57例)、修飾麻しん59例〕

(補)2012年第36週から2013年第35週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎1例(感染地域 : 北海道__感染源 : 不明)、日本紅斑熱2例(感染地域 : 鳥取県1例、広島県1例)、ライム病1例(感染地域 : 北海道)、急性脳炎7例〔水痘帯状疱疹ウイルス1例__年齢群 : 70代 . コクサッキーウイルスA群2型1例__年齢群 : 2歳 . 病原体不明5例__年齢群 : 2歳(1例)、5歳(1例)、7歳(1例)、9歳(1例)、20代(1例)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔0歳(1例)、40代(1例)〕などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第36週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.72)、愛媛県(0.10)、徳島県(0.05)である。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は2,551例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(3.00)、長崎県(2.64)、佐賀県(2.61)である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県(2.05)、北海道(1.52)、山口県(1.45)である。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(8.61)、熊本県(6.40)、島根県(5.70)である。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.36)、福岡県(1.23)、新潟県(0.93)、富山県(0.93)である。

手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(10.93)、北海道(10.35)、長野県(8.80)である。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(0.72)、岩手県(0.18)、山梨県(0.17)である。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は鳥取県(0.26)、新潟県(0.05)である。

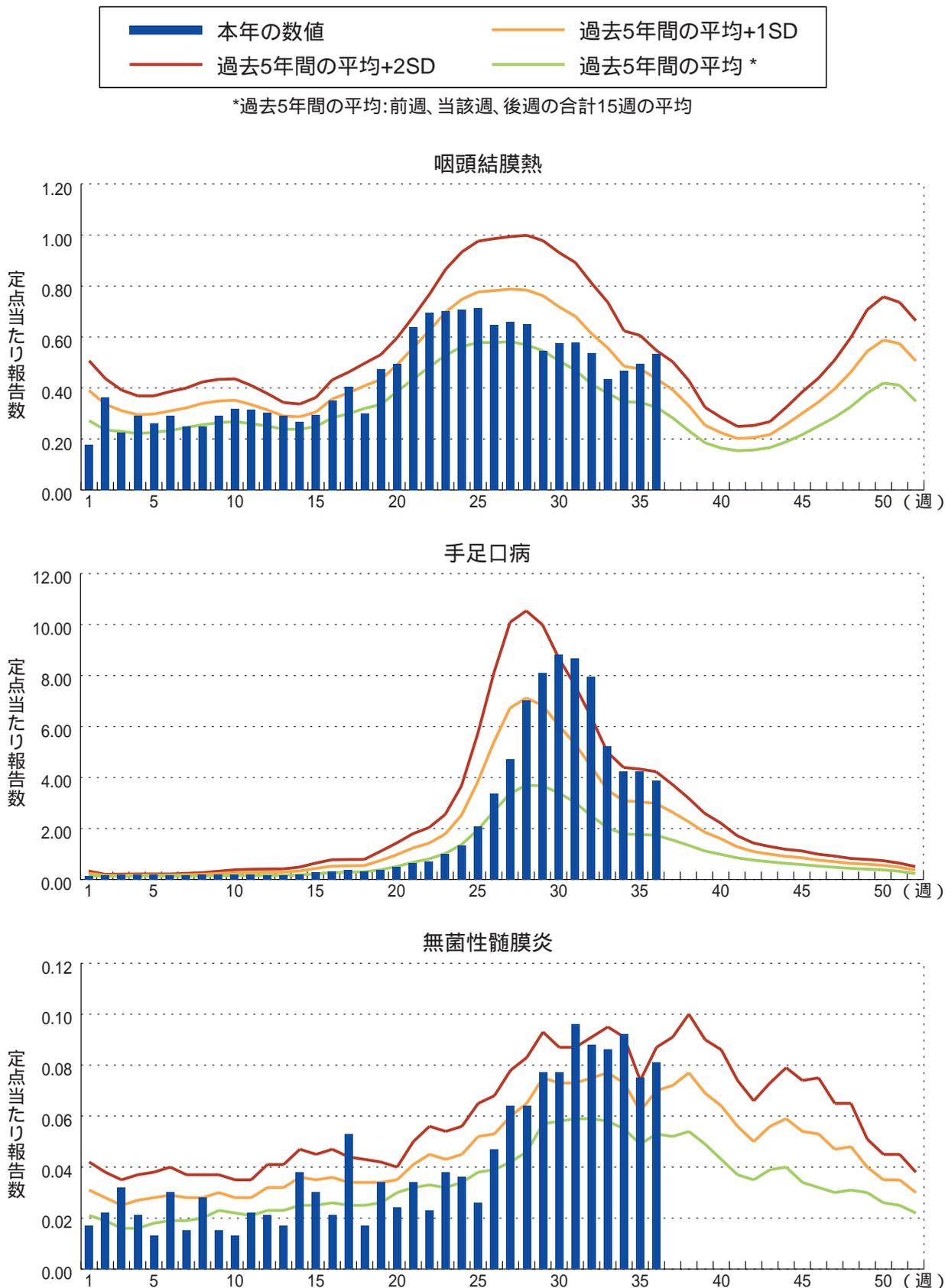
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は青森県(3.80)、新潟県(3.67)、北海道(3.36)である。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.45)、高知県(0.93)、福岡県(0.55)である。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.00)、群馬県(0.88)、青森県(0.83)である。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2013年第36週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症(respiratory syncytial virus infection)は、RSウイルスの感染によって発症する呼吸器感染症である。年齢を問わず、生涯にわたり顕性感染を繰り返し、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスの初感染を受けるとされる。分子疫学的な分析として国内ではタイプAが主に流行しているとの情報がある。RSウイルス感染症は乳幼児期においては重要な疾患であり、特に生後数週間～数カ月間の時期においては母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こす場合がある。

潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日とされる。発熱、鼻汁などの上気道炎症状が数日間続いた後、20～30%の初感染児において、下気道に影響が及ぶ場合があるとされる。特に細気管支炎となった例では、炎症性浮腫と分泌物、脱落上皮により細気管支が狭くなるに従って、呼吸性喘鳴、多呼吸、陥没呼吸などを呈するようになる。喀痰の貯留により無気肺を起こすことも珍しくない。RSウイルス感染症は、乳幼児の肺炎の原因の約50%、細気管支炎の50～90%を占めるとの報告もある。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高い。重篤な合併症としては、細気管支炎・肺炎以外に、無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳症等がある(IASR 2008年10月号 : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/344/tpc344-j.html> 参照)。平成24年の人口動態統計によると、わが国のRSウイルス感染症による死亡数は、2008～2012年の5年間で、年平均31.4人(28～36人)と報告されており、米国では年間400例ほどの小児がRSウイルス感染症により死亡していることが推察されている(Red Book 2012より)。

RSウイルスの主な感染経路は飛沫感染と接触感染である。年長者の再感染例ではRSウイルス感染症と気付かれない軽症例も多数存在することから、家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行を効果的に抑制することは困難である場合が多い。

RSウイルス感染症の発生動向については、感染症法改正(2003年11月5日施行)により対象疾患となり、全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。診断は臨床症状のみでは不可能であることから、届出基準としてウイルスの分離・同定、迅速診断キットによる抗原検出、血清抗体検出(中和反応または補体結合反応)による病原検査が必須とされている。臨床現場で最も簡便な迅速診断キット検査については、2011年10月より、従来入院例に加えて、乳児およびパピズマブ製剤の適応となる患者に対しても適用されることとなり、現在は外来診療の場においても多く活用されていると推察される。その結果、これまでの対象とは異なる軽症例においてもRSウイルス迅速検査が実施される場合があるとの情報もあり、サーベイランス情報の解釈については慎重に行う必要があると考えられる。

< サーベイランス情報のまとめ >

RSウイルス感染症の小児科定点医療機関からの報告数は、例年冬期にピークが見られ、夏期は報告数が少ない状態が継続していたが、2011年以降、7月頃から報告数の増加傾向がみられるようになった。2013年の報告数は第25週から徐々に増加傾向がみられ、特に第34週(1,281)から第35週(2,004)にかけて急激な増加がみられた(図1)。2013年第36週の報告数は2,551例となり、都道府県別の報告数をみると、福岡県(316)、東京都(212)、大阪府(208)、新潟県(135)、山口県(112)、鹿児島県(112)、宮崎県(101)、熊本県(91)の順となっている。37の都道府県で前週の報告数よりも増加がみられている(図2)。

図1. RSウイルス感染症の年別・週別発生状況(2003年第45週 ~ 2013年第36週)

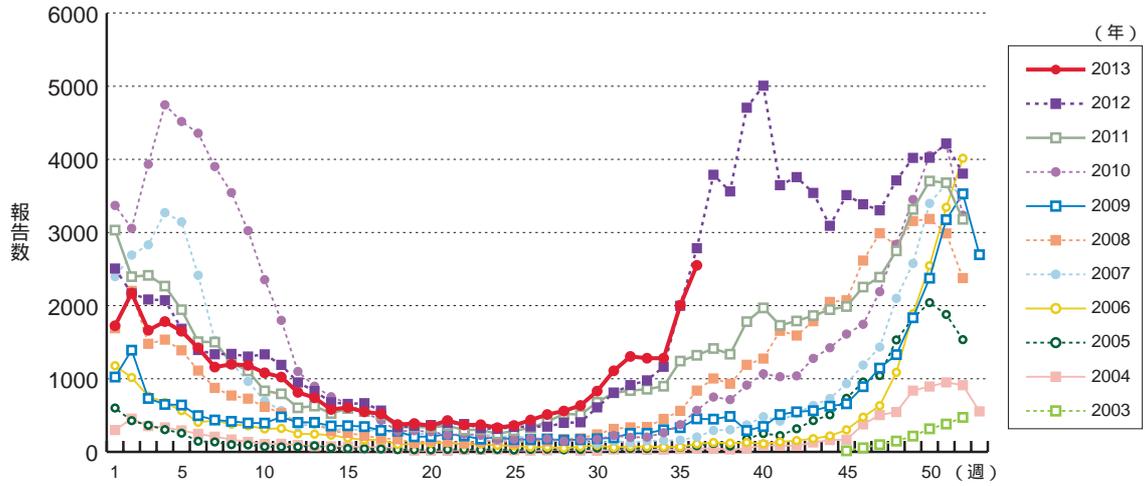


図2. RSウイルス感染症の都道府県別報告数の推移(2013年第34 ~ 36週)

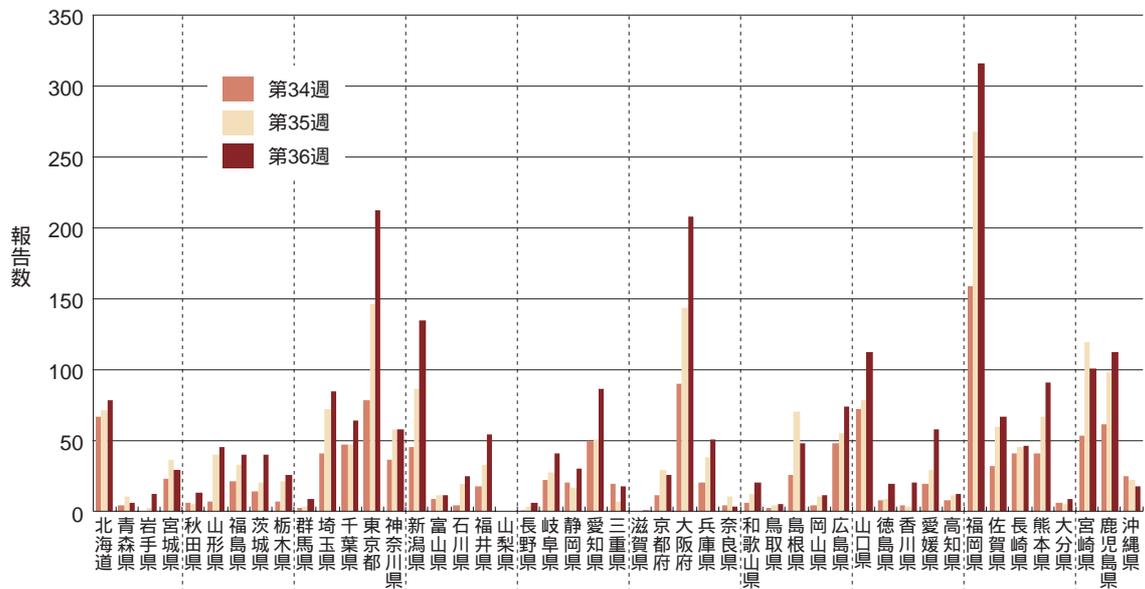
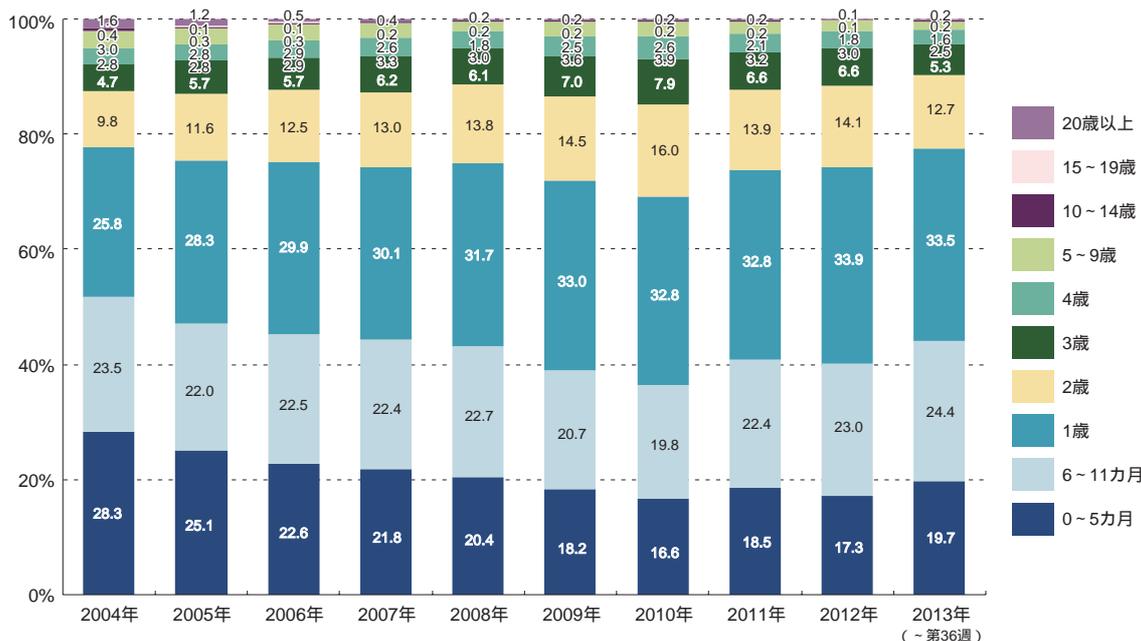


図3. RSウイルス感染症の年別・年齢群別割合(2004年 ~ 2013年第36週)



年齢群別割合については、2013年第1~36週の累積報告数(35,691)をみると、0歳44.1%(0~5カ月19.7%、6~11カ月24.4%)、1歳33.5%、2歳12.7%、3歳5.3%、4歳2.5%の順であり、0歳の報告割合が最多を占め、次いで1歳、2歳と年齢順である。1歳以下で全報告数の約70%以上を、3歳以下で全報告数の90%以上を占めているのは、2004年以降変わりはない(図3)。また、2013年については、報告数の増加が始まった第25週以降の12週間では、累積報告数13,052例中0歳の報告割合が39.9%(0~5カ月15.7%、6~11カ月24.2%)、1歳の報告割合が37.9%、2歳13.1%であり、1歳の報告割合が増加している。

今後の地理的広がりや年齢分布、重症例の発生などの動向について、さらなる注意が必要である。

国立感染症研究所感染症疫学センター

砂川富正 伊東宏明 木下一美 松井珠乃 多屋馨子 大石和徳

岡山大学医学部

島谷直孝

パラチフス2013年 - カンボジア渡航後の感染者増加 (2013年9月11日現在)

パラチフスはパラチフスA菌(*Salmonella Paratyphi A*)の感染によって起こる全身性感染症であり、通常は1～10日間の潜伏期の後、徐々に発症する。症状は発熱の持続、頭痛、倦怠感、比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない)、バラ疹(高熱時に出現して数時間で消える)、脾腫などがある。また、成人では下痢よりも便秘の頻度が高い。重症度は軽症から重症まで様々である。感染可能な期間は、菌の排出が続く発症から回復期の間(通常1～2週間)である。チフス菌よりも頻度は低いが、胆のうへの感染が持続しキャリアとなる症例も存在する¹⁾。

現在、日本におけるパラチフスは感染症法に基づく3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の届出(疑似症患者は対象外)が、診断した全ての医師に義務づけられている。近年は、毎年20～30例前後が報告されており、その9割は直近の海外渡航歴が明らかにされ、国外感染が強く疑われた症例である(以下、国外感染例とする)。2013年は8月末までで既に累積36例(うち国外感染35例)が報告されており(注: うち1例は2012年12月31日の診断であり、ここでは疫学週である2013年第1週として数えた。ただし、図2は月別の報告数であり、2012年12月に含めた)、過去数年と比較して国外感染例が増加している(図1)。推定される国外の感染地域は、大多数はアジアで、特にインド、バングラデシュなどの南アジアが従来は多かったが、2013年はカンボジアでの感染が15例と急増し、例年最も多い感染地であるインドを上回っている。カンボジアでの感染は、2009年以降2009年3月に1例あったがそれ以降は報告がなく、2012年12月に1例報告された後増加し始め、2013年5月の5例をピークに、8月までで計16例の集積が報告されている(図2)。

図1. パラチフスの年別・感染地域別報告数(2009年～2013年8月)

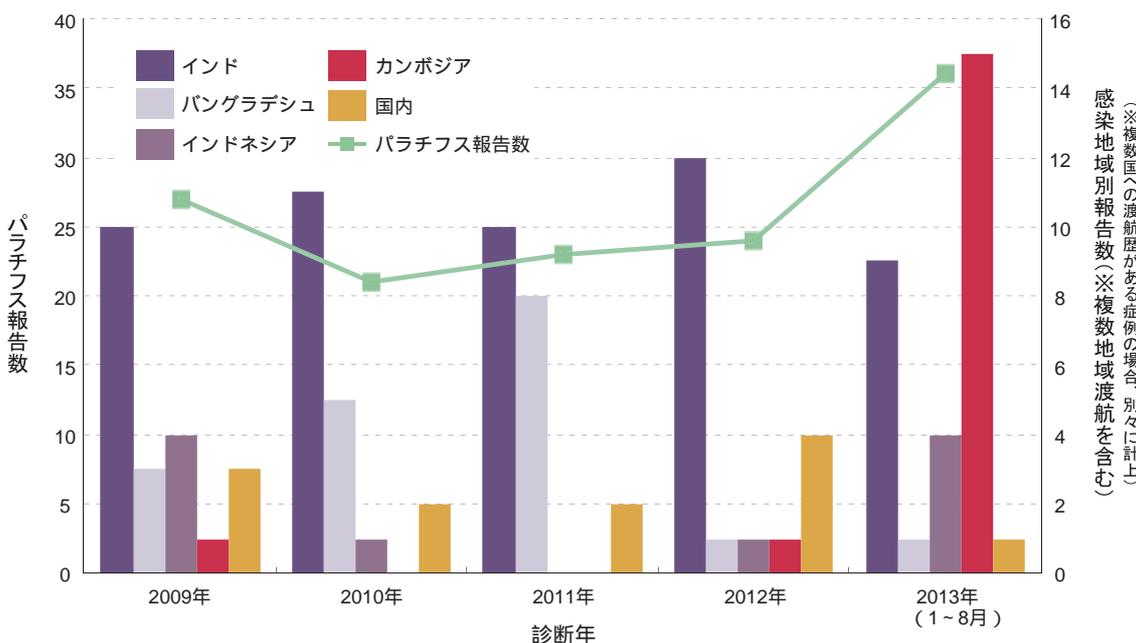
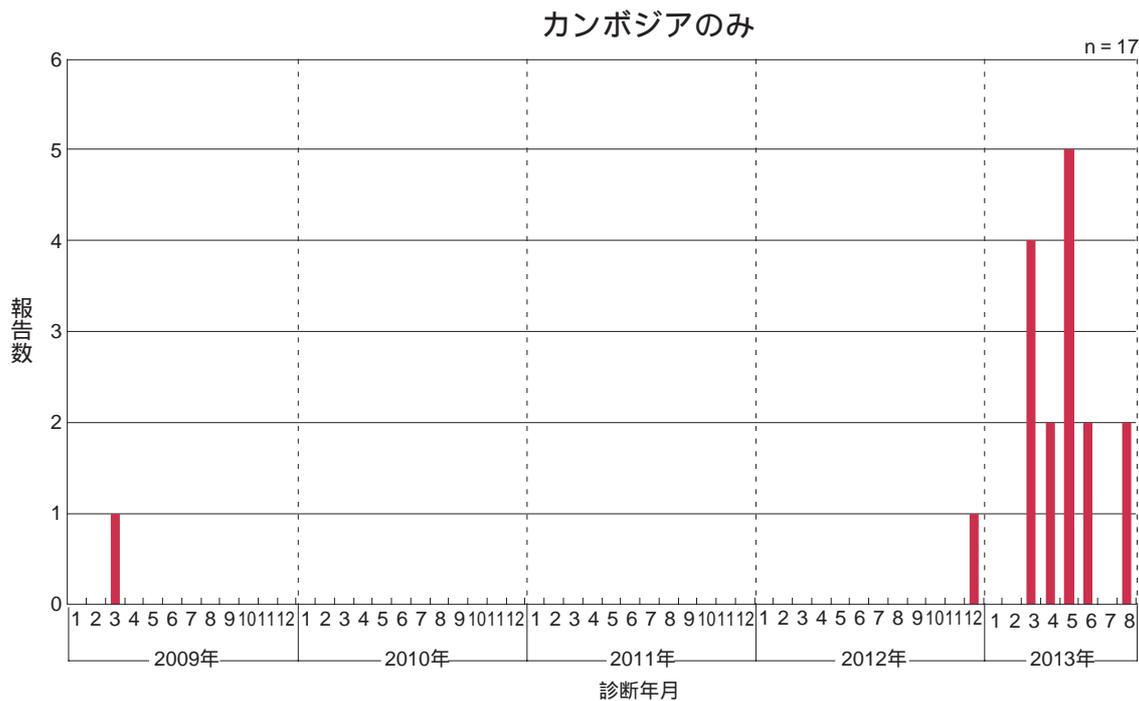
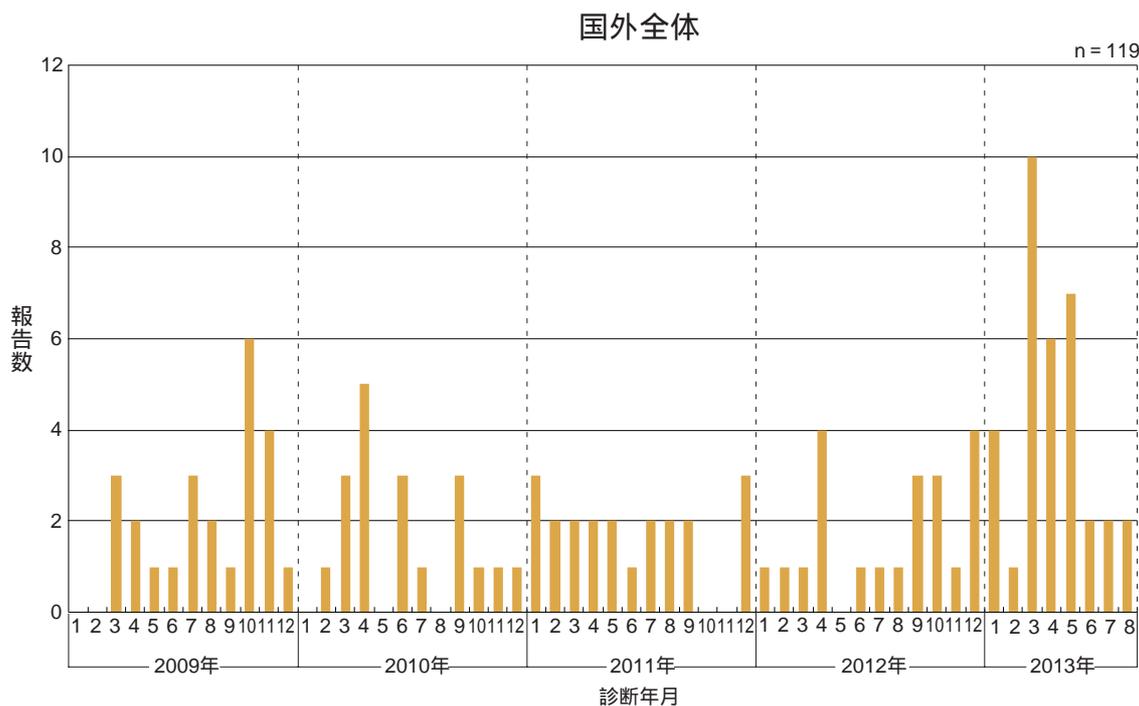


図2. パラチフスの診断年月別・国外感染報告数(2009年1月～2013年8月)



2012年12月~2013年8月までの16例の内訳は、男性10例、女性6例(男女比1.7:1)、年齢中央値が41.5歳(範囲:23~76歳)である。これらの症例について、同一旅行ツアーの参加者、あるいはカンボジア国内の共通した地域や観光地、レストラン等へ行ったなどの疫学的関連性は今のところ不明である。なお、分離されたパラチフスA菌のファージ型(phage type;PT)別検査がこれまでに14株に対して行われており、そのほとんどの株がPT2であった。

2013年1月以降、ヨーロッパ諸国(フランス、ドイツ、オランダ、ノルウェー、英国)やニュージーランドにおいても、カンボジアへの渡航者で、帰国後パラチフスを発症したという患者が増加しているという報告がされている。こちらも、現地での感染原因・感染経路は不明で、引き続き調査中とのことである^{2),3)}。パラチフスA菌の感染はヒトに限って起こり、患者および無症状病原体保有者の糞便と尿、それらに汚染された食品、水、手指が感染源となり、経口的に感染する。流行地への渡航、とりわけカンボジアへ渡航を予定されている方々は、日頃から手洗いの励行を心がけ、現地で生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどの飲食を避けることが肝要である。また、発熱を主訴に受診した帰国者を診察した医師は、患者の渡航先などの情報から、鑑別診断のためにパラチフスも念頭に置く必要がある。

- 1) APHA : Typhoid Fever/Paratyphoid fever, Control of Communicable Disease Manual 19th Ed. P664-667
- 2) ECDC : RAPID RISK ASSESSMENT
<http://www.ecdc.europa.eu/en/publications/Publications/paratyphoid-fever-cambodia-rapid-risk-assessment.pdf>
- 3) ECDC : Communicable Disease Threats Report Week 36, 1-7 September 2013
<http://www.ecdc.europa.eu/en/publications/Publications/Communicable-disease-threats-report-01-sep-2013.pdf>

国立感染症研究所

感染症疫学センター

齊藤剛仁 島田智恵 金山敦宏 八幡裕一郎 牧野友彦 砂川富正 大石和徳

細菌第一部

森田昌知 泉谷秀昌 大西 真



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

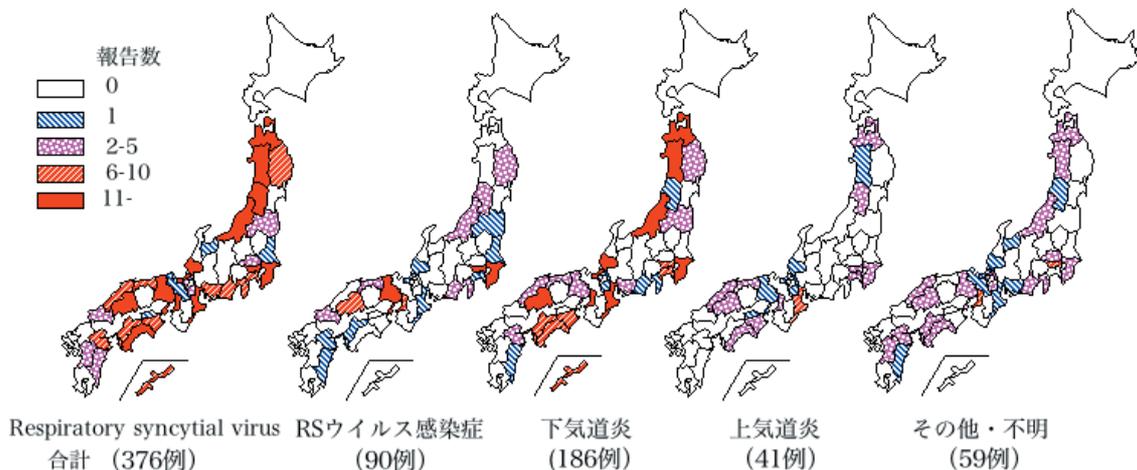
国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2013年9月12日現在報告分)

RSウイルス 2010～2013年

都道府県別診断名別Respiratory syncytial virus分離・検出報告状況、2013年

(病原微生物検出情報：2013年9月12日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

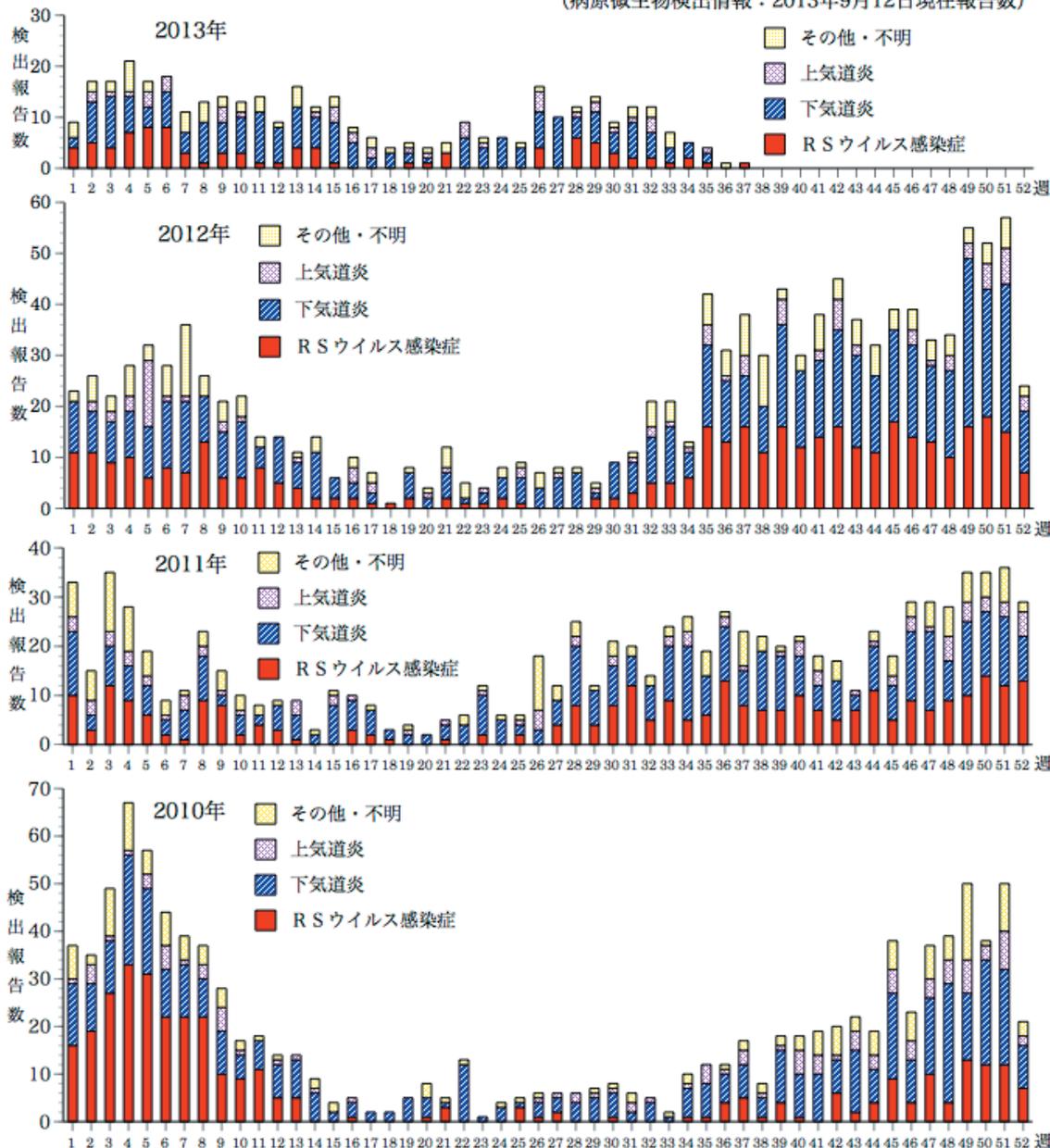


RSウイルスの検出は2013年の第1～37週(9/9-15)までに千葉県38例、東京都、大阪府各29例、三重県、広島県各27例、兵庫県23例、新潟県21例、青森県18例、秋田県、福井県各16例、高知県13例、山形県12例など32都府県から376例が報告されている。

2013年にRSウイルス(RSV)が検出された患者の診断名は、下気道炎が186例(49%)、RSウイルス感染症が90例(24%)、上気道炎が41例(11%)、その他に気管支喘息、不明熱各8例などが報告されている。

週別診断名別Respiratory syncytial virus分離・検出報告数、2010~2013年

(病原微生物検出情報：2013年9月12日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

2010年は冬期に検出数が増加したが、2012年は第35週(8/27-9/2)から検出数が増加した。

RSウイルスの検出速報グラフは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/2293-iasrgv4.html>

を参照ください。

RSウイルスの検出速報集計表は

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/511-surveillance/iasr/tables/1493-iasr-table-v.html>

のインフルエンザ&呼吸器ウイルスを参照ください。



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

世界におけるインフルエンザ流行状況(更新18)

2013年9月16日 WHO

【要約】

- ・北半球の温帯地域におけるインフルエンザの活動性は依然としてシーズンオフの水準でした。米国では、今年、インフルエンザA(H3N2)に感染した者が6月に報告されてから、これまでに18人の感染者が報告されました。詳細は米国疾病予防管理センター(CDC)のウェブサイト参照してください。

<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-cases.htm>

- ・アジアの熱帯地域のほとんどでは、インフルエンザの活動性は低下しました。
- ・中米のカリブ海諸国と南米の熱帯地域では、インフルエンザのシーズンは終息に向かっているようです。今年5月以降、RSウイルス、インフルエンザA(H1N1)pdm09、インフルエンザA(H3N2)が主な呼吸器疾患を起こすウイルスとして報告されました。
- ・南米の温帯地域と南アフリカでは、インフルエンザの活動性は6月下旬にピークに達しました。これらの地域では、今シーズンにおけるインフルエンザの活動性は、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が関係しましたが、7月以降はインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型の増加がみられました。
- ・オーストラリアとニュージーランドでは、インフルエンザウイルスの検出数とインフルエンザ様疾患(ILI)の割合は例年の同時期に比べて低いですが、8月上旬以降、増加傾向がみられました。両国とも、インフルエンザA(H1N1)pdm09よりも、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型が多く検出されました。
- ・9月16日時点で、インフルエンザA(H7N9)に感染した患者は135人と報告されました。詳細は世界保健機関(WHO)のウェブサイト参照してください。

http://who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html

【北半球の温帯地域】

・北米

全体として、北米におけるインフルエンザの活動性は、ほとんどの地域で、依然として低い水準でした。カナダと米国におけるインフルエンザの活動性は、依然としてシーズンオフの水準でした。米国では、6月に初めてインフルエンザA(H3N2)に感染した患者が報告されてから、これまでに18人の感染者が報告されました。詳細はCDCのホームページを参照してください。

<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-cases.htm>

・ヨーロッパ

ヨーロッパにおけるインフルエンザの活動性は、依然としてシーズンオフの水準でした。ILIと急性呼吸器感染症(ARI)の受診率は、すべての地域で低い水準でした。定点機関で採取された検体で、インフルエンザが陽性となった検体はありませんでした。

・アフリカ北部と西アジア

アフリカ北部と西アジアにおけるインフルエンザの活動性は低い水準でした。

・北アジア

アジアの温帯地域におけるインフルエンザの活動性は、5月下旬以降、シーズンオフの水準です。

8月11日現在、インフルエンザA(H7N9)の患者が135人報告されており、そのうち44人が死亡しました。前回の更新以降、新たな患者は報告されませんでした。詳細な情報と更新情報は、WHOのウェブサイトを参照してください。

http://who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域(中米、カリブ海諸国)

カリブ海諸国と中米におけるインフルエンザの活動性は、全体的に低い水準でした。コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、ニカラグア、パナマは明らかにインフルエンザシーズン中ですが、これらの国では、過去数週間でインフルエンザの伝播は終息に向かいました。キューバでは、依然として、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)がともに伝播しましたが、低い水準でした。

南米の熱帯地域では、インフルエンザの活動性は全体的に減少し、この地域のインフルエンザシーズンの終息を示しました。コロンビアでは、外来受診率、入院率、ARIに関連した集中治療室(ICU)への入院割合は、前週から著しい変化はなく、全体として減少傾向を示しました。ベネズエラにおけるARIと肺炎の水準は、6月上旬にピークに達した後、この時期に想定される活動性の水準に戻りました。呼吸器疾患を起こすウイルスが陽性となった検体は、最近数週間で0%に減少しました。エクアドルにおけるSARI(重症急性呼吸器感染症)の入院患者数も減少がみられました。ペルーでは、7月中旬にインフルエンザA(H1N1)pdm09の伝播が急激に増加しましたが、最近数週間で伝播の水準は減少しました。ボリビアでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がともに伝播し続けましたが、過去数週間にわたってインフルエンザの伝播は減少しました。ブラジルは、この地域の他の国と同様で、ILIやSARIの患者からのインフルエンザウイルスの検出は減少しました。

・中部アフリカの熱帯地域

コートジボワール、ガーナ、ケニアでは、インフルエンザウイルスが伝播していると報告されました。コートジボワールでは主にインフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型の伝播が報告されたのに対して、ガーナではインフルエンザA(H3N2)がより多く検出されました。ケニアでは、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型がともに伝播したと報告されました。カメルーンにおけるインフルエンザの活動性は低い水準と報告されました。マダガスカルにおけるインフルエンザの活動性は、5月末にピークに達した後、減少し続けており、最近ではインフルエンザB型のみが検出されています。

・アジアの熱帯地域

南アジアのすべての国で、インフルエンザの伝播は依然として低い水準でした。この地域からは、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)ウイルスがともに報告されました。過去数週間にわたって、中国南部、香港特別行政区では、伝播しているインフルエンザの亜型がインフルエンザA(H1N1)pdm09からインフルエンザA(H3N2)への変化がみられました。

東南アジアでは、インフルエンザの活動性が減少しており、タイでは主にインフルエンザ

A(H3N2)ウイルスの伝播が続きました。

【南半球の温帯地域】

・南米の温帯地域

南米の温帯地域では、南米の熱帯地域と同様に、インフルエンザシーズンは終息に向かいました。インフルエンザとRSウイルスの活動性は低下傾向を示し、南米の温帯地域で検出された呼吸器疾患を起こすウイルスは、依然として、主にRSウイルスでした。チリでは、国内のILIの受診率、SARIに関連した入院の割合は減少し続けました。依然として、主にRSウイルスが検出されました。採取された1,418検体のうち、4%だけがインフルエンザウイルスが陽性となりました。陽性となった検体では、インフルエンザA(H1N1)pdm09が大部分を占めました。アルゼンチンでは、ILIとSARIの患者数は6月下旬にピークに達した後、減少しました。この減少はまた、インフルエンザウイルスが陽性となる検体の割合にも表れました。パラグアイでは、インフルエンザの伝播は7月上旬以降減少し、最近数週間で検出されたインフルエンザウイルスは極めて少数でした。一方、ILIの活動性は、依然として高い水準でした。ウルグアイでは、インフルエンザの活動性は減少し続けました。呼吸器疾患を起こすウイルスとして検出されたウイルスは、インフルエンザA(H1N1)pdm09とRSウイルスが優勢でした。

・南アフリカの温帯地域

南アフリカでは、6月にインフルエンザA(H1N1)pdm09によるインフルエンザの活動性がピークに達した後、過去数週間はインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型の伝播が増加したことにより小さな2番目のピークがみられました。このインフルエンザ亜型の変化は、ILI患者とSARI患者でもみられています。

・オセアニア、メラネシア、ポリネシア

オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸島におけるILIの活動性は、過去数週間にわたって増加傾向を示しており、遅いシーズンの始まりを示しているのかもしれませんが。

オーストラリアでは、インフルエンザの型と亜型の構成割合は地域によって異なりました。西オーストラリア州では、依然として、インフルエンザA(H3N2)が優勢でしたが、インフルエンザA(H1N1)pdm09の割合が増加しました。ビクトリア州では、報告されたインフルエンザの半数以上がインフルエンザB型でした。南オーストラリア州、クイーンズランド州、ニューサウスウェールズ州では、最近数週間でインフルエンザB型の割合が増加しました。インフルエンザの陽性率は、国内定点研究所サーベイランスの19.0%からオーストラリア定点実地研究ネットワーク(ASPREN)の25.1%まで幅があります。過去数週間にわたって、インフルエンザに関連した入院患者数は季節性の増加を続けています。インフルエンザの患者の約15%がICUに直接入院しています。入院患者の年齢分布は、0から9歳までと60歳以上の年齢層でピークがみられました。

ニュージーランドにおけるインフルエンザの活動性は、依然として閾値を下回る水準が続いていますが、増加傾向がみられました。383検体のうち206検体でインフルエンザが陽性でした。このうち68検体がインフルエンザB型、70検体がインフルエンザA(H3N2)、13検体がインフルエンザA(H1N1)pdm09、55検体がインフルエンザA(亜型不明)でした。オークランドとカウンティーズマヌカウ保健地区(Counties Manukau District Health Boards)では、地域サーベイランスと病院サーベイランスで、インフルエンザの活動性がわずかに減少しました。



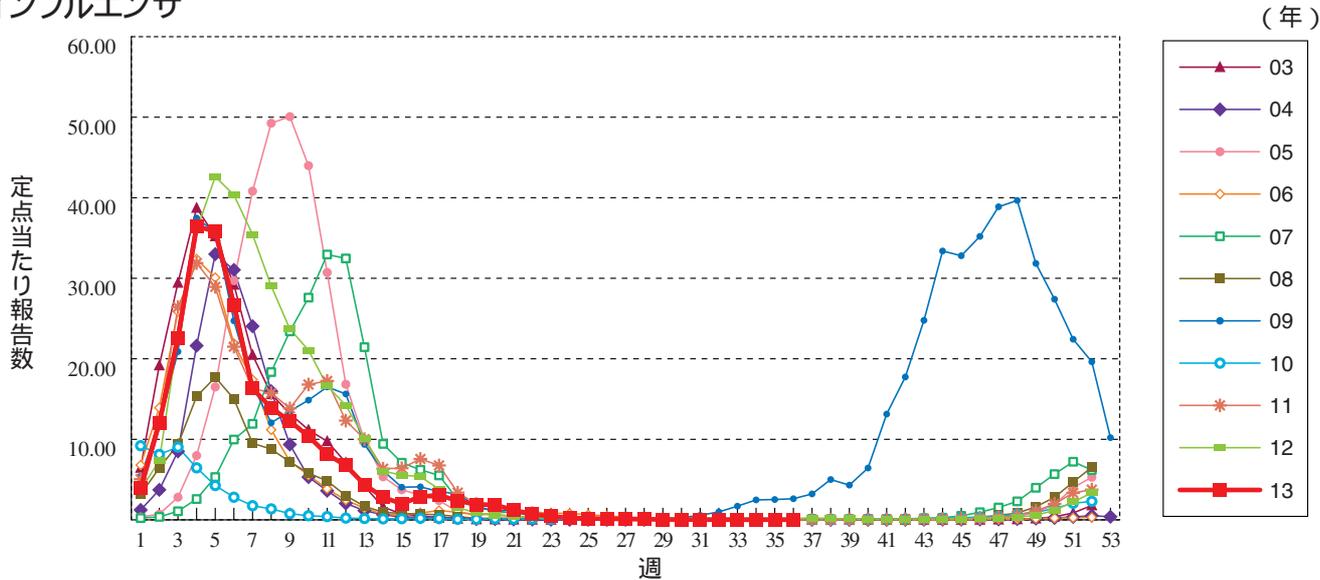
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

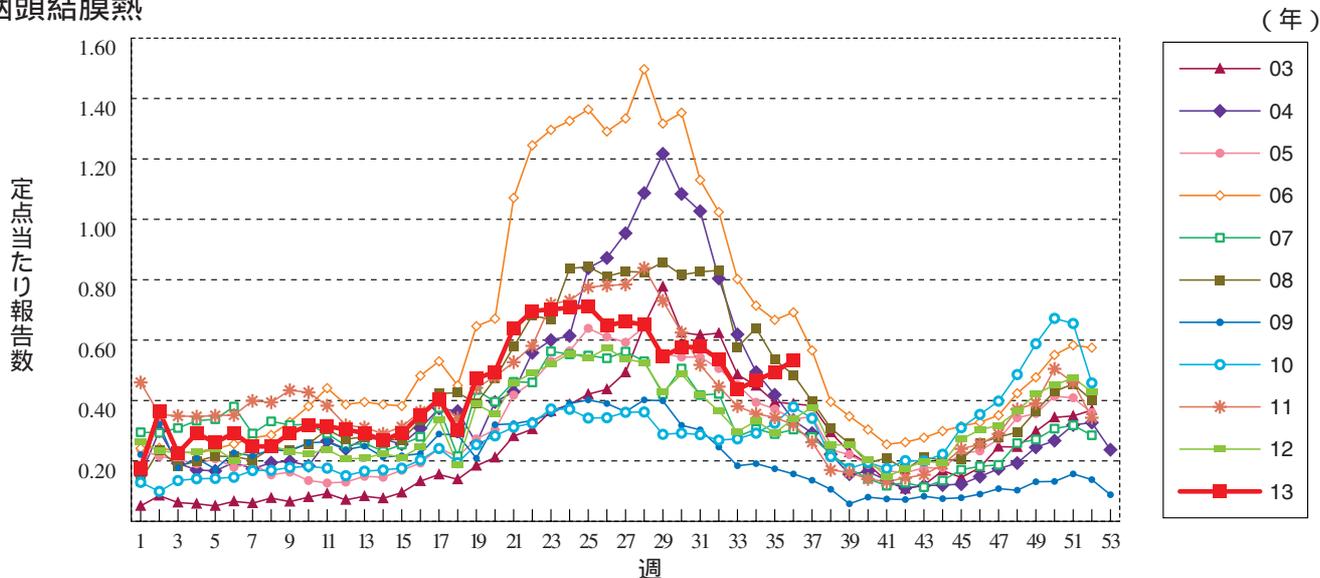


グラフ総覧(36週)

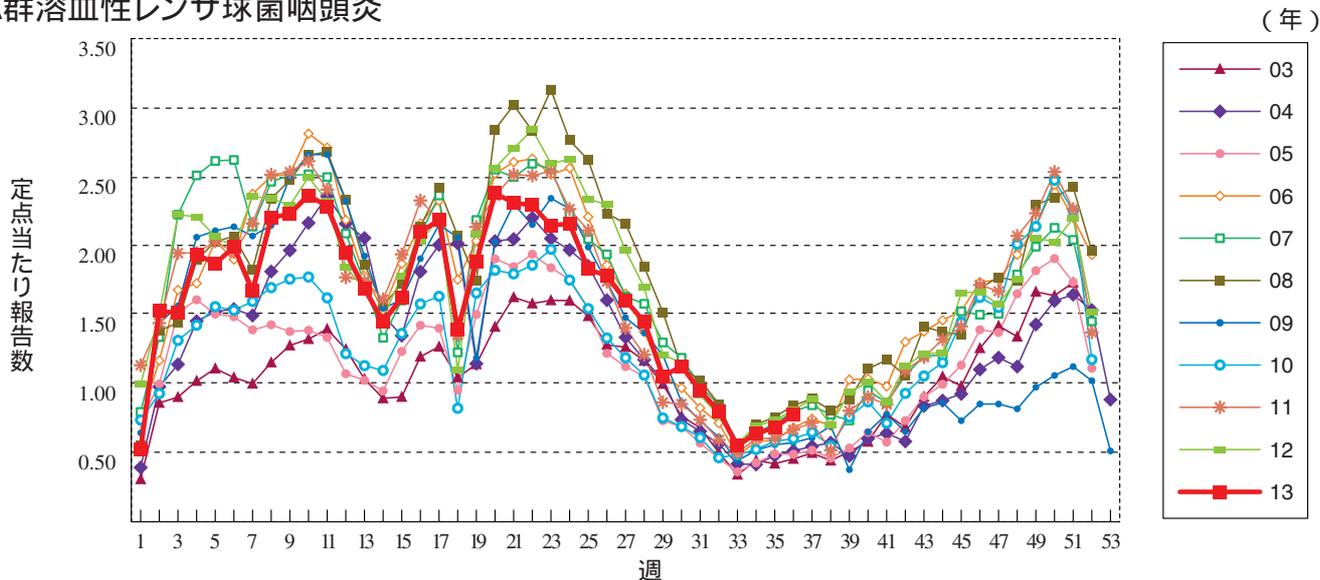
インフルエンザ



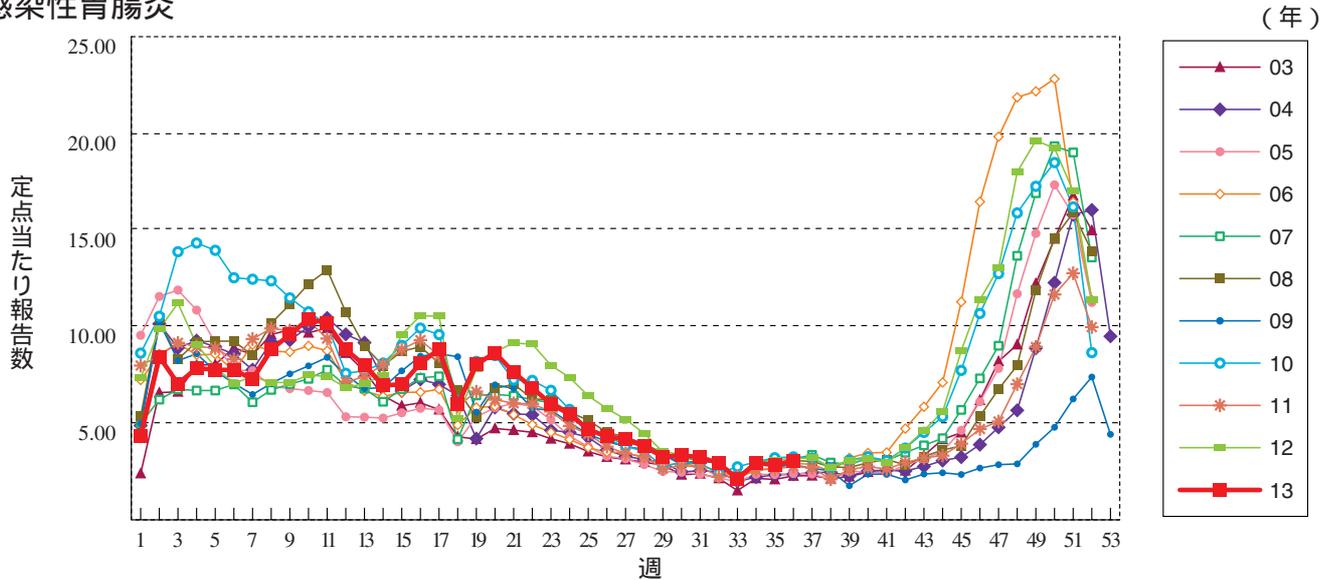
咽頭結膜熱



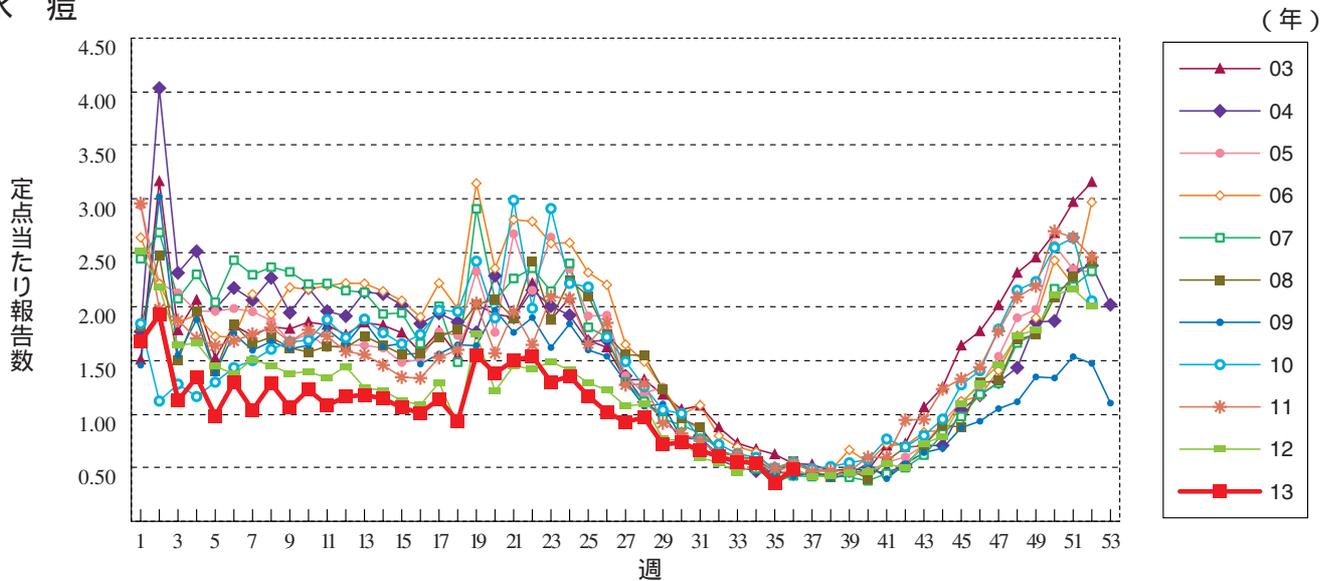
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



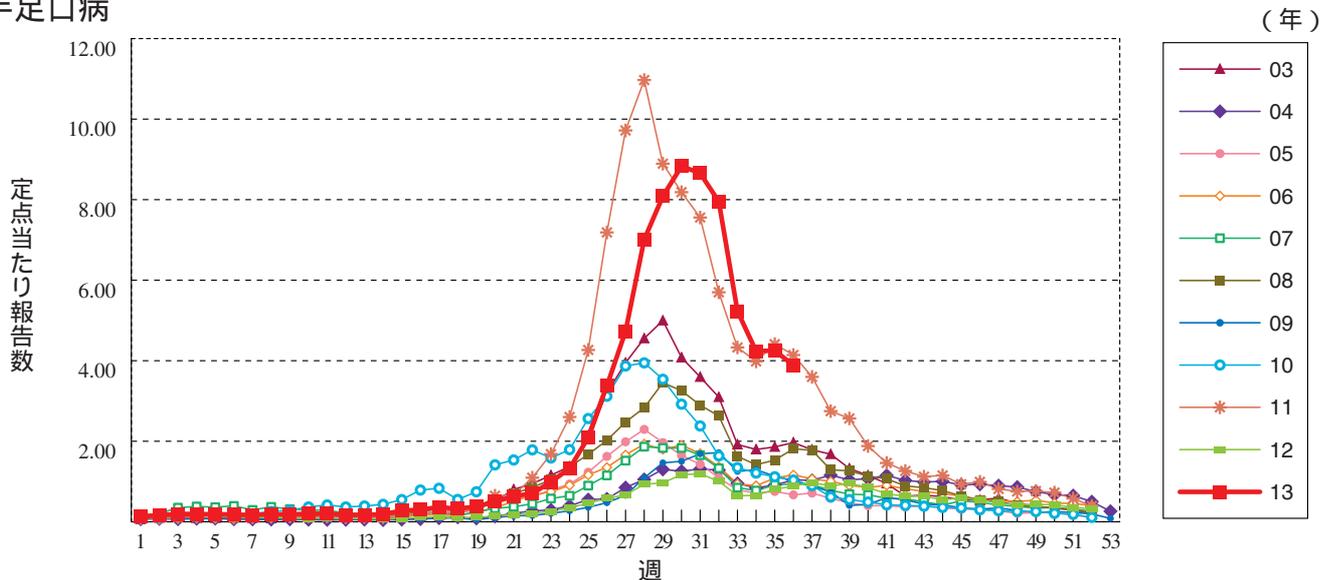
感染性胃腸炎



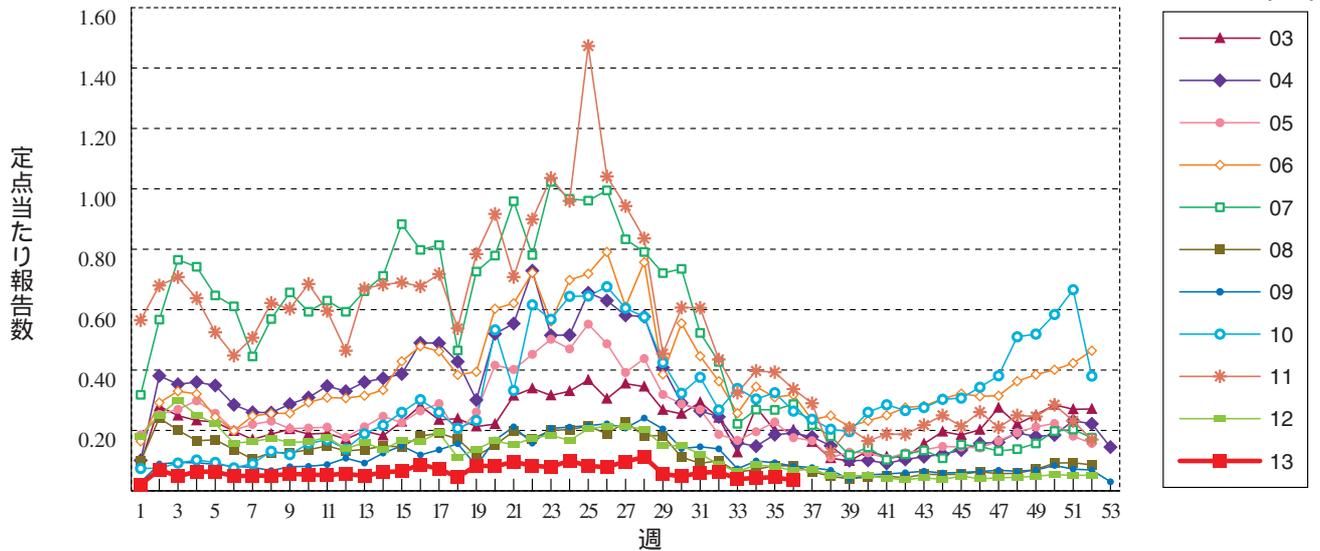
水痘



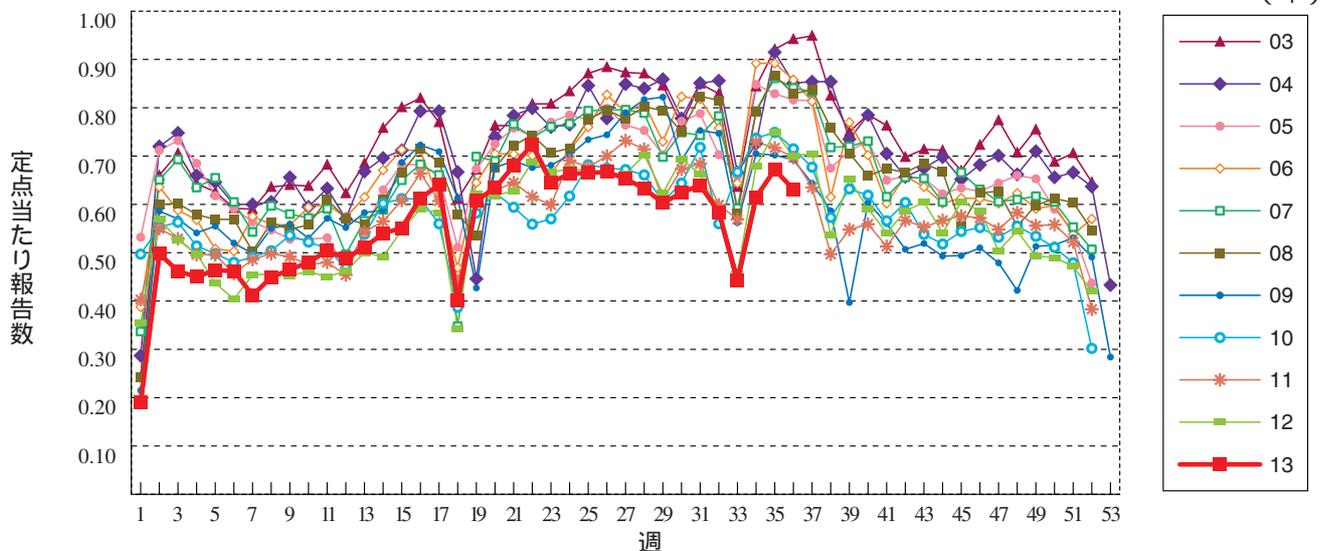
手足口病



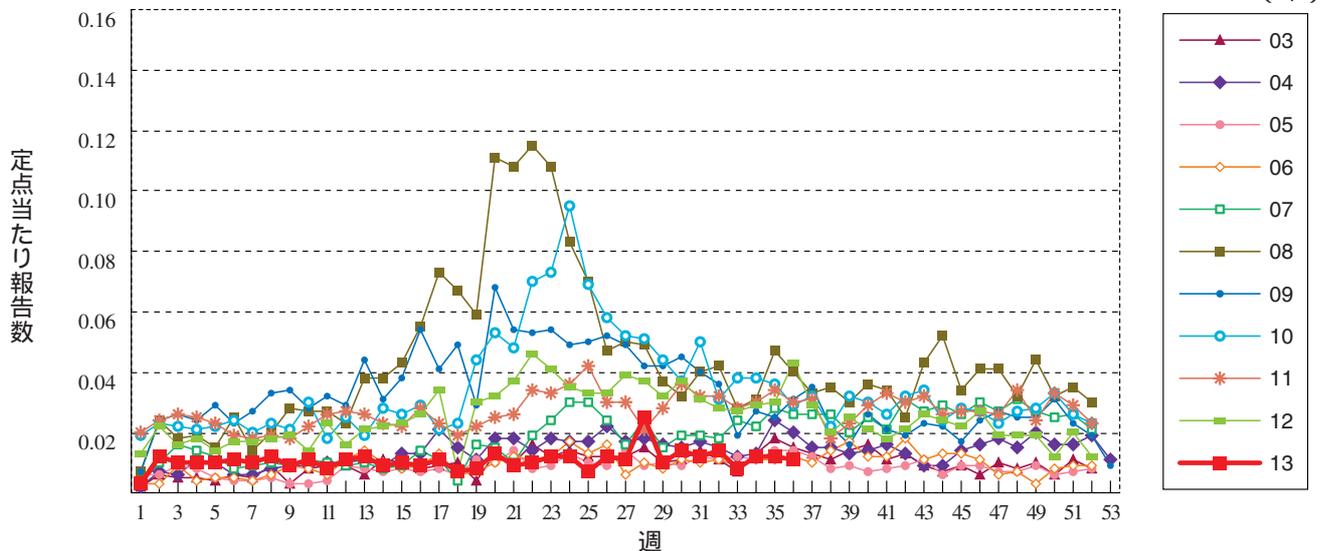
伝染性紅斑



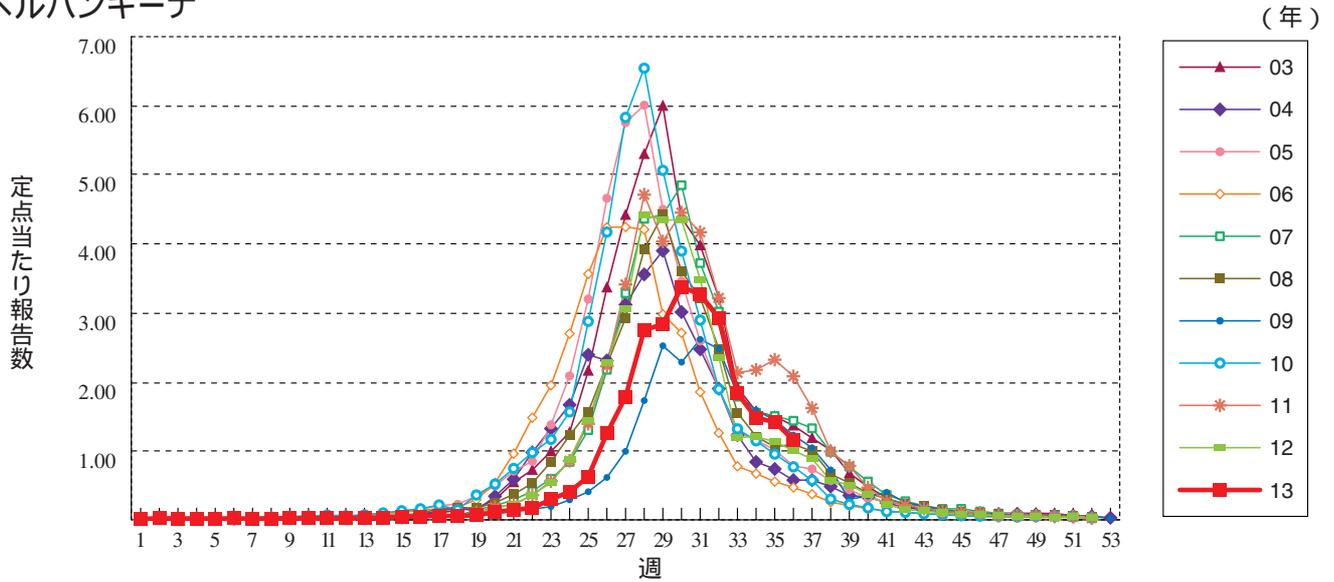
突発性発しん



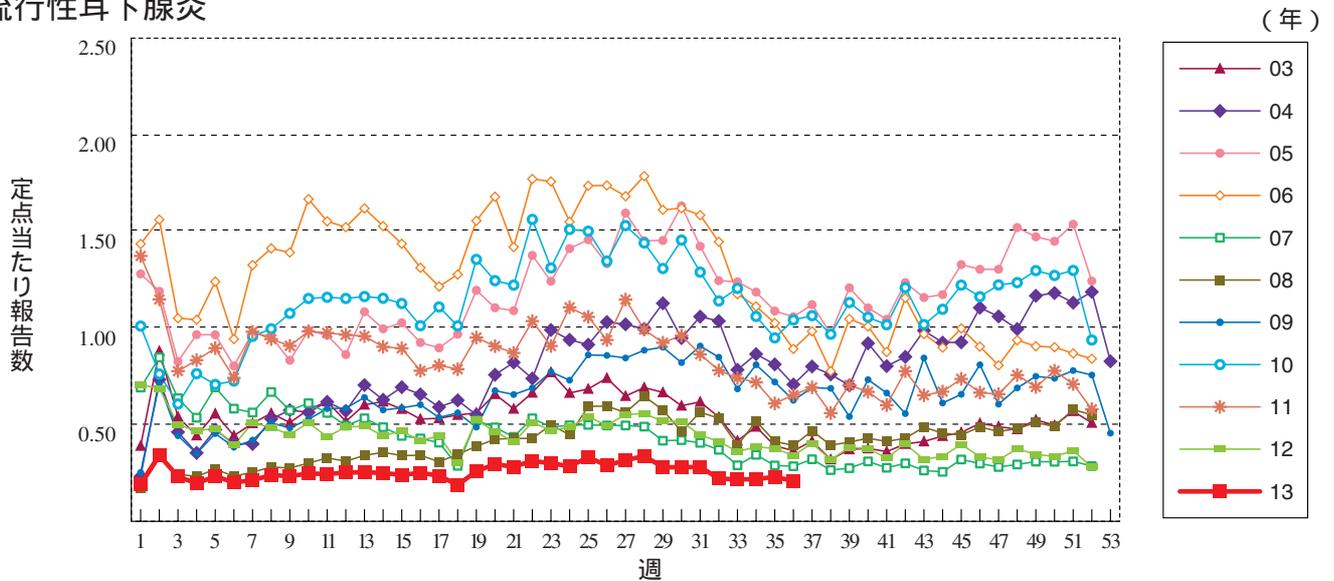
百日咳



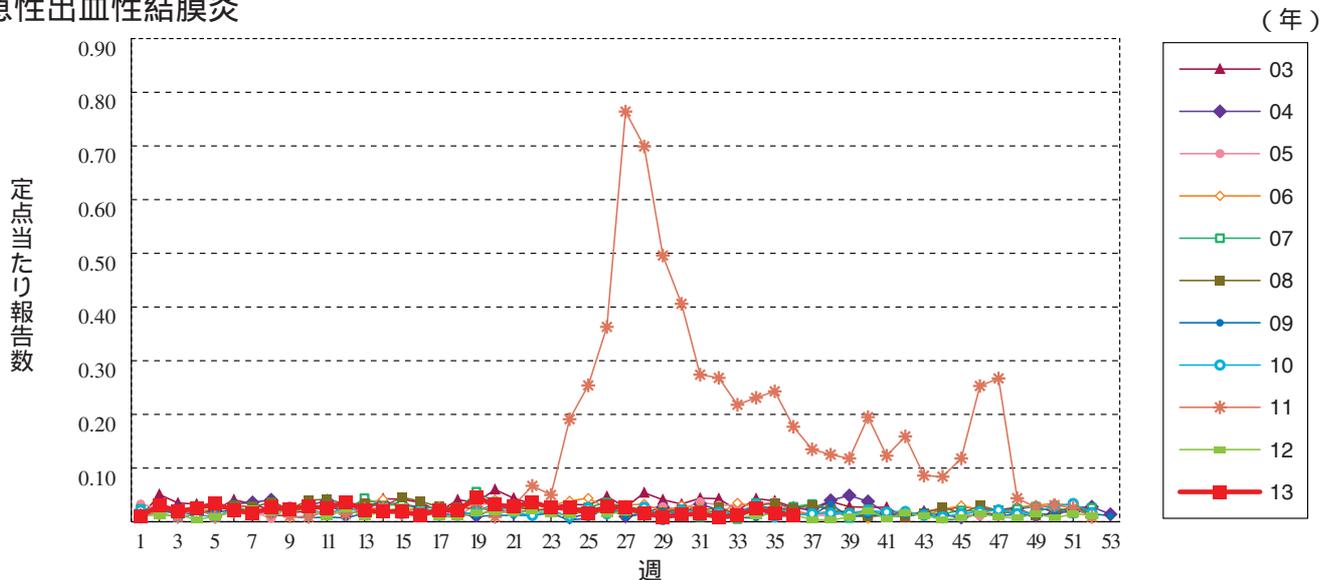
ヘルパンギーナ



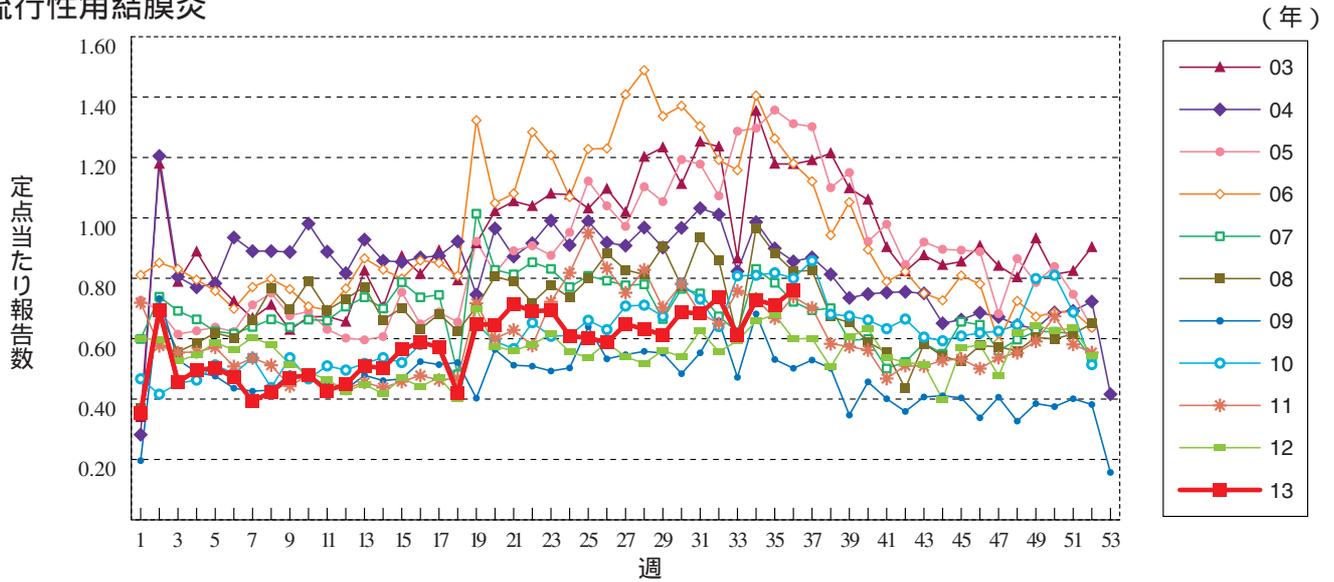
流行性耳下腺炎



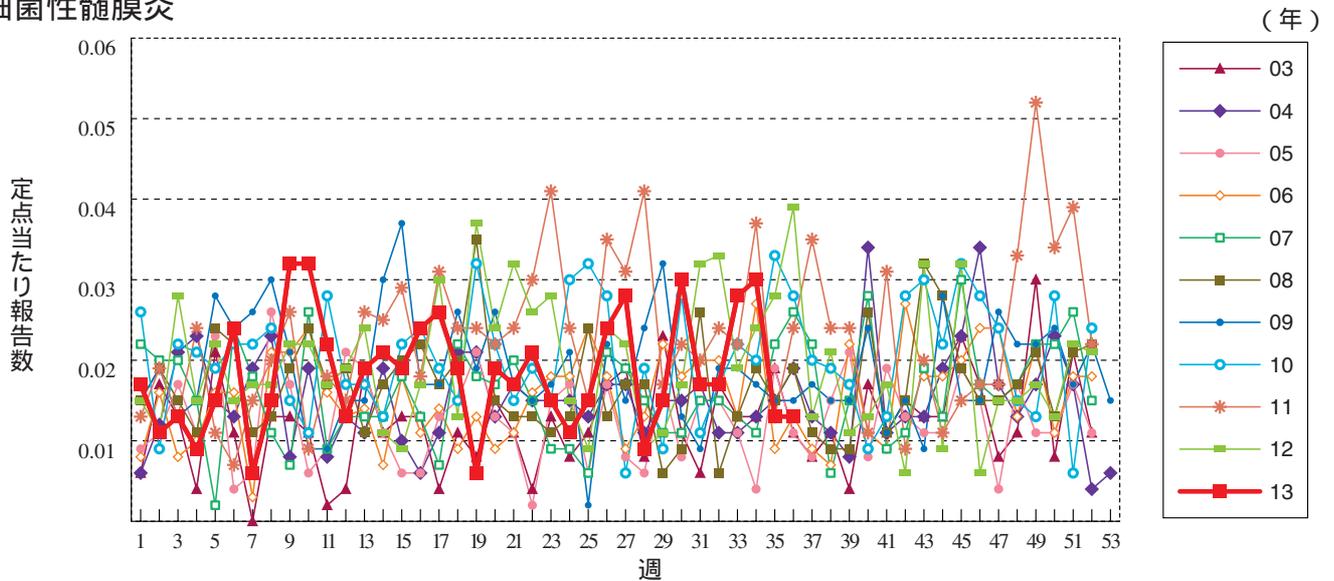
急性出血性結膜炎



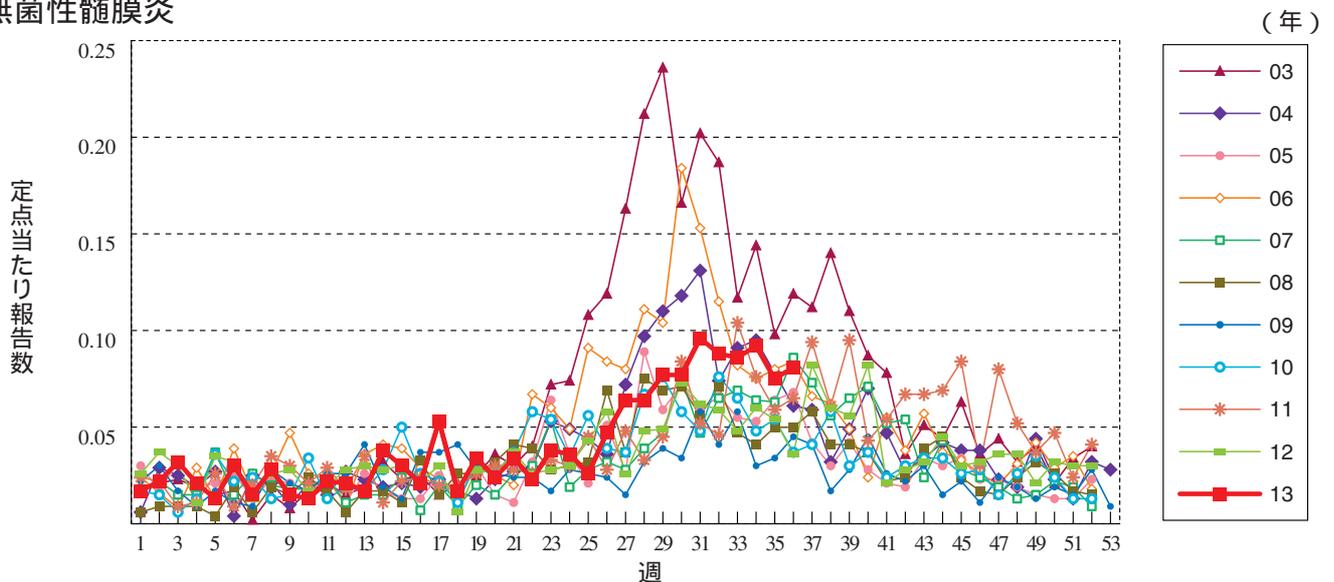
流行性角結膜炎



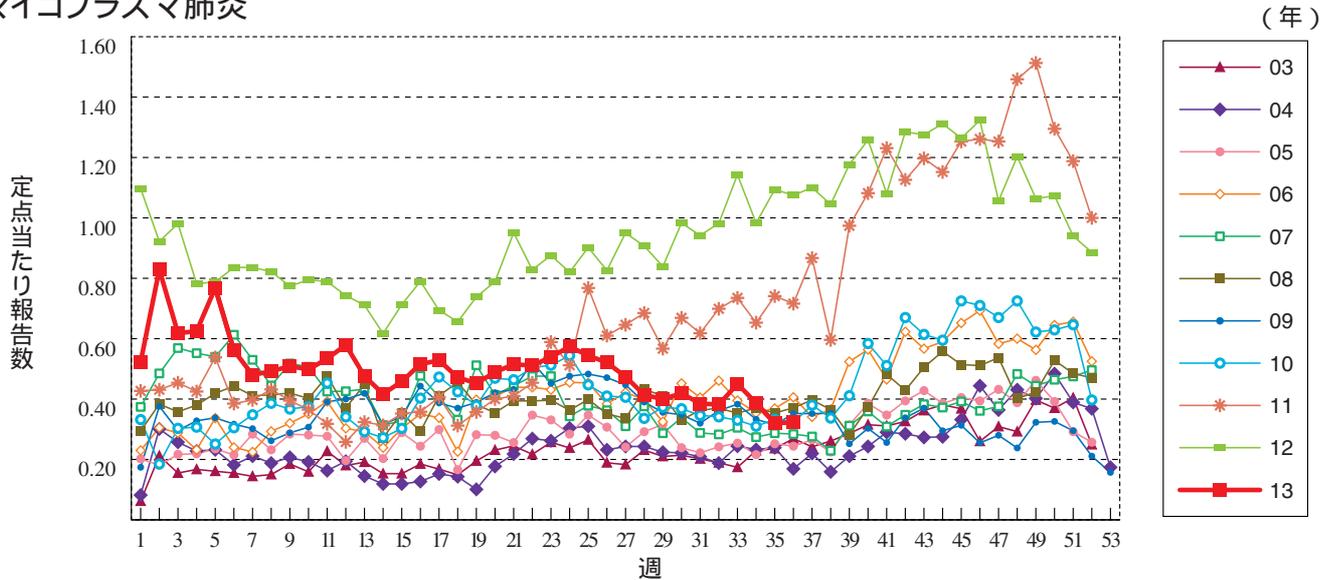
細菌性髄膜炎



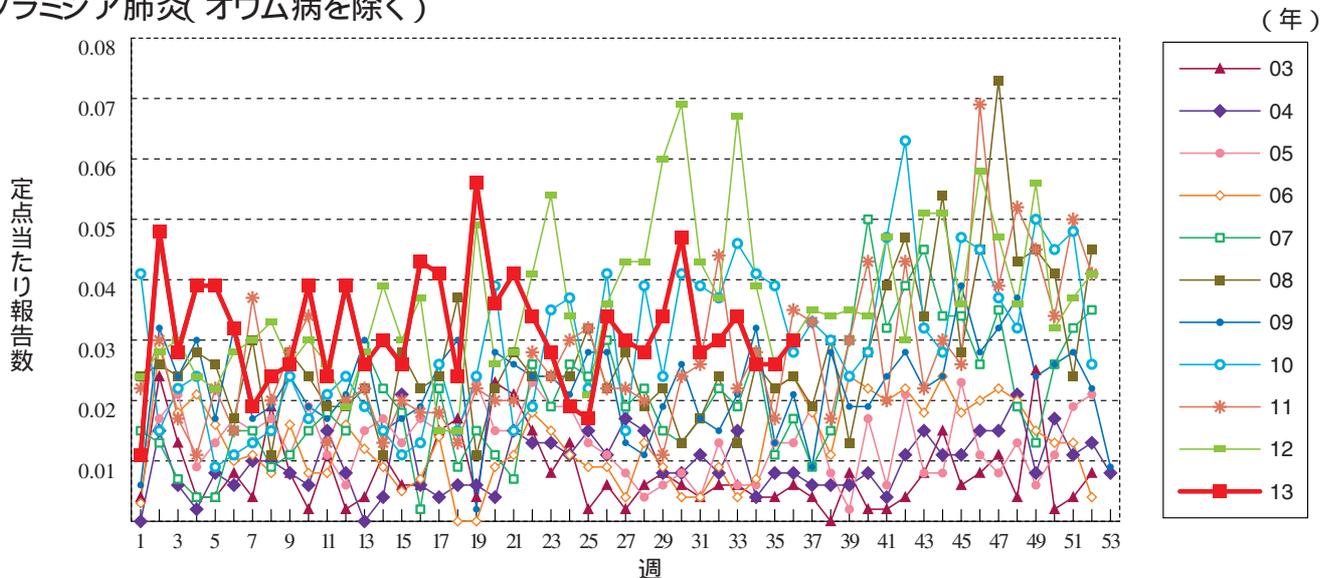
無菌性髄膜炎



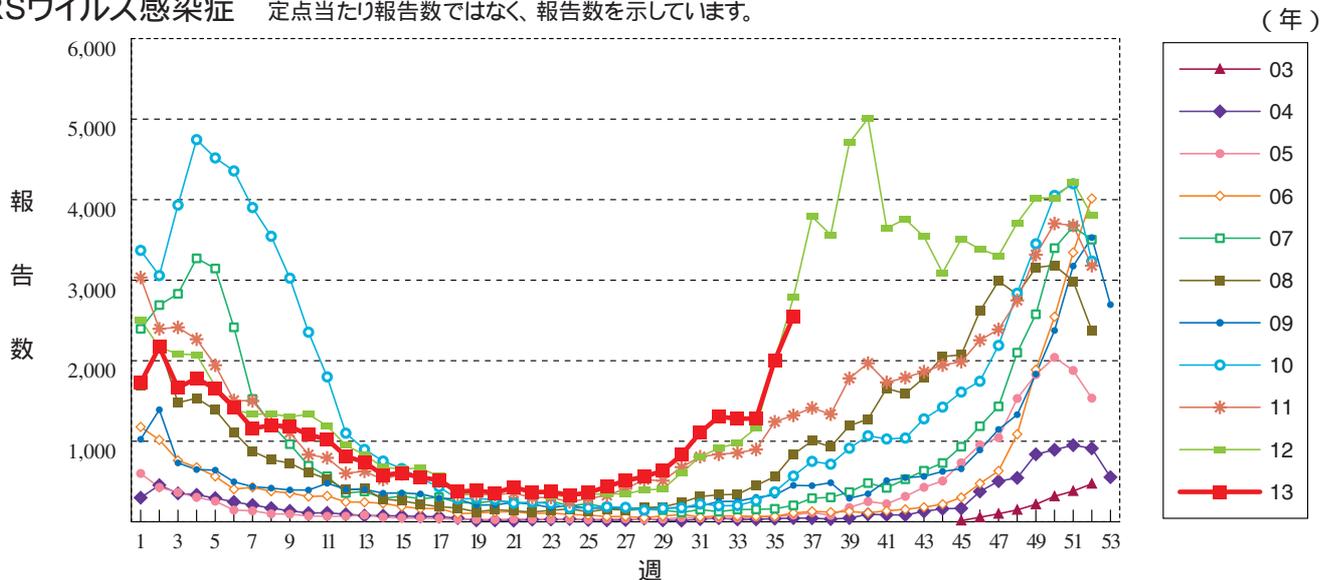
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





36週のデータ

注) 表中の報告数は9月11日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年36週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	406	18289
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	524
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	217
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	144
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	239
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	129
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	157
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	231
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	335
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	221
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	865
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	867
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72	2725
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	1242
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	254
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	137
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	138
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	108
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	65
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	235
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	323
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	433
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	1302
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	221
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	194
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	429
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	1224
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	927
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	246
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	204
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	99
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	250
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	382
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	192
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	118
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	141
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	152
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	91
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	762
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	147
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	250
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	217
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	214
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	184	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	204
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	309

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年36週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	2	3	103	180	2726	2	42	-	36	-	87
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	144	-	-	-	-	-	18
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	78	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	118	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	26	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	33	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	59	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	32	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	65	-	1	-	-	-	4
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5	116	-	3	-	1	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	93	-	5	-	2	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	3	25	7	256	1	14	-	16	-	21
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	3	146	-	5	-	6	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	45	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	23	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	41	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	13	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	48	-	-	-	1	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	41	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	65	-	1	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	12	138	-	1	-	2	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	56	-	1	-	1	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	46	-	2	-	2	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	8	98	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	5	116	-	3	-	1	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	58	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	4	47	-	1	-	1	-	1	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	36	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	1	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	179	-	2	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	55	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	1	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	53	-	1	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	19	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	84	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	57	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年36週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	99	-	12	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年36週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	3	-	-	2	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1及びH7N9 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年36週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	143	2	154	-	-	-	-	-	-	3	85	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	15	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	2	1	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	15	-	3	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年36週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	30	-	-	1	15
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年36週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメルバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	2	26	727	2	13	-	-	16	719	5	198	4	270
北海道	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	22	-	7	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	3	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	52	-	-	-	-	-	19	1	5	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	2	-	-	-	6	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	9	-	1	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	10	1	2	1	25
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-	-	-	7	-	-	-	14
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	19	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	3	26	-	-	-	-	-	24	-	3	1	27
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	41	-	-	-	-	3	49	-	3	1	25
東京都	-	-	-	-	-	1	2	50	1	3	-	-	1	135	1	55	-	33
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	38	-	2	-	-	-	66	1	13	1	13
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	18	-	1	-	-	1	14	-	1	-	10
富山県	-	-	-	-	-	-	2	25	-	-	-	-	-	6	-	4	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	6	-	1	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	12	-	6	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	1	1	10	-	-	-	-	-	9	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	21	-	-	-	-	1	17	-	3	-	12
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	37	-	-	-	-	-	47	-	10	-	21
三重県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4	-	3	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	14	-	7	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	2	42	-	-	-	-	2	75	-	18	-	20
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	2	35	-	7	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	9	-	7	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	11	1	11	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	8	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	24	-	-	-	-	2	33	-	6	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	7	-	3	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	8	1	3	-	-	-	2	-	4	-	3

*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年36週

	クリプトスボリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	11	3	146	7	150	21	1036	1	55	-	68	1	16	2	556	-	13
北海道	-	9	-	2	-	3	1	24	-	1	-	2	-	-	-	23	-	-
青森県	-	-	-	2	1	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	6	-	3	-	11	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	3	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-	5	-	-
茨城県	-	-	-	3	-	5	1	17	-	-	-	4	-	-	-	16	-	-
栃木県	-	-	-	1	1	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	2	1	13	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-
埼玉県	-	-	1	8	-	5	1	30	-	1	-	1	-	1	-	27	-	-
千葉県	-	-	-	4	-	8	1	50	-	3	-	4	-	1	1	26	-	1
東京都	-	2	-	11	1	27	6	315	-	15	-	7	1	8	-	61	-	8
神奈川県	-	-	-	7	-	14	1	75	-	4	-	6	-	1	-	57	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	3	-	9	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-
富山県	-	-	-	1	-	6	-	3	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-
石川県	-	-	-	4	-	2	1	7	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	1	5	1	13	-	1	-	-	-	-	1	13	-	-
岐阜県	-	-	-	6	-	2	-	13	-	1	-	1	-	-	-	16	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	6	-	28	-	1	-	2	-	-	-	12	-	-
愛知県	-	-	-	9	-	6	-	57	-	2	-	5	-	-	-	48	-	2
三重県	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	2	-	3	-	9	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	2	16	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-
大阪府	-	-	-	10	-	6	4	141	1	5	-	1	-	1	-	26	-	1
兵庫県	-	-	1	10	1	11	-	37	-	5	-	4	-	-	-	25	-	-
奈良県	-	-	-	7	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	8	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
岡山県	-	-	1	4	-	2	-	8	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-
広島県	-	-	-	6	-	1	-	23	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	8	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
香川県	-	-	-	2	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛媛県	-	-	-	4	-	3	-	3	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	6	-	3	-	39	-	2	-	6	-	1	-	34	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	2	1	7	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	3	1	1	-	4	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	3	-	13	-	1	-	5	-	1	-	11	-	-

*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

**髄膜炎菌性髄膜炎は2013年3月31日をもって届出対象疾患から外れ、以後は侵襲性髄膜炎菌感染症に含まれることになります。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年36週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風 し ん		麻 し ん		鳥インフル エンザ(H7N9)*		髄膜炎菌性 髄膜炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	23	836	2	96	-	-	3	43	37	13987	6	196	-	-	-	2
北海道	-	20	-	6	-	-	-	1	-	105	-	2	-	-	-	-
青森県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	36	-	3	-	-	-	1	1	100	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山形県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
福島県	-	10	-	3	-	-	-	-	1	35	-	1	-	-	-	-
茨城県	2	14	-	5	-	-	-	1	1	119	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	5	-	2	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-
群馬県	1	9	-	5	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	21	-	3	-	-	1	7	1	595	1	28	-	-	-	-
千葉県	2	38	-	7	-	-	-	1	1	697	-	20	-	-	-	-
東京都	7	290	-	3	-	-	-	7	10	3328	-	57	-	-	-	-
神奈川県	2	53	-	5	-	-	-	4	2	1636	1	30	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	43	-	1	-	-	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-
長野県	-	8	-	3	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	16	-	2	-	-	-	2	-	148	-	4	-	-	-	-
愛知県	1	36	1	2	-	-	-	6	2	329	4	16	-	-	-	-
三重県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	96	-	4	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	120	-	1	-	-	-	-
京都府	-	8	-	2	-	-	-	-	-	319	-	5	-	-	-	-
大阪府	3	108	-	3	-	-	1	7	8	3152	-	15	-	-	-	1
兵庫県	-	27	-	3	-	-	-	-	3	1153	-	7	-	-	-	-
奈良県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	180	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	-	-	-	-	-	1	244	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	1	4	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	1	-	71	-	2	-	-	-	-
広島県	1	7	-	1	-	-	-	-	1	92	-	-	-	-	-	-
山口県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
香川県	1	16	-	-	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
高知県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	36	-	4	-	-	-	2	3	297	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	1	-	-	-	-	1	41	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	4	-	1	-	-	1	2	-	62	-	-	-	-	-	-
大分県	-	3	-	3	-	-	-	-	1	31	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	6	-	4	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	386	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年36週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	68	0.01	2551	1674	0.53	2447	0.78	9627	3.06	1531	0.49	12206	3.88	111	0.04	1982	0.63	
北海道	-	-	78	34	0.24	217	1.52	228	1.59	38	0.27	1480	10.35	2	0.01	73	0.51	
青森県	-	-	6	1	0.02	10	0.24	31	0.76	9	0.22	244	5.95	-	-	18	0.44	
岩手県	1	0.02	12	4	0.10	51	1.28	99	2.48	25	0.63	259	6.48	7	0.18	20	0.50	
宮城県	-	-	29	8	0.14	58	1.00	117	2.02	21	0.36	324	5.59	5	0.09	43	0.74	
秋田県	-	-	13	4	0.12	16	0.47	55	1.62	12	0.35	262	7.71	-	-	12	0.35	
山形県	-	-	45	9	0.30	32	1.07	61	2.03	4	0.13	152	5.07	-	-	24	0.80	
福島県	-	-	40	5	0.11	40	0.89	64	1.42	21	0.47	247	5.49	1	0.02	28	0.62	
茨城県	2	0.02	40	21	0.28	53	0.71	288	3.84	22	0.29	185	2.47	-	-	30	0.40	
栃木県	-	-	26	10	0.21	23	0.48	60	1.25	19	0.40	152	3.17	-	-	33	0.69	
群馬県	-	-	9	2	0.03	60	1.00	206	3.43	12	0.20	216	3.60	-	-	25	0.42	
埼玉県	-	-	85	100	0.63	123	0.78	582	3.68	69	0.44	595	3.77	8	0.05	143	0.91	
千葉県	-	-	64	53	0.40	147	1.10	339	2.53	43	0.32	485	3.62	8	0.06	68	0.51	
東京都	2	0.00	212	140	0.55	202	0.79	773	3.02	112	0.44	732	2.86	8	0.03	202	0.79	
神奈川県	-	-	58	57	0.28	98	0.48	467	2.29	87	0.43	602	2.95	14	0.07	132	0.65	
新潟県	-	-	135	8	0.13	55	0.90	77	1.26	57	0.93	667	10.93	5	0.08	39	0.64	
富山県	-	-	11	13	0.45	27	0.93	99	3.41	27	0.93	139	4.79	21	0.72	20	0.69	
石川県	-	-	25	4	0.14	41	1.41	64	2.21	8	0.28	165	5.69	1	0.03	17	0.59	
福井県	-	-	54	10	0.45	45	2.05	94	4.27	14	0.64	121	5.50	2	0.09	20	0.91	
山梨県	-	-	-	4	0.17	17	0.71	41	1.71	7	0.29	91	3.79	4	0.17	8	0.33	
長野県	-	-	6	9	0.17	69	1.28	174	3.22	14	0.26	475	8.80	-	-	34	0.63	
岐阜県	3	0.03	41	17	0.32	17	0.32	100	1.89	25	0.47	218	4.11	2	0.04	28	0.53	
静岡県	1	0.01	30	42	0.47	54	0.61	288	3.24	35	0.39	488	5.48	2	0.02	62	0.70	
愛知県	-	-	86	60	0.33	91	0.50	513	2.83	88	0.49	574	3.17	5	0.03	99	0.55	
三重県	-	-	18	13	0.29	12	0.27	140	3.11	26	0.58	226	5.02	-	-	23	0.51	
滋賀県	-	-	1	10	0.31	12	0.38	89	2.78	19	0.59	201	6.28	-	-	12	0.38	
京都府	1	0.01	26	14	0.19	25	0.34	150	2.05	42	0.58	312	4.27	-	-	31	0.42	
大阪府	4	0.01	208	52	0.26	177	0.89	653	3.28	103	0.52	433	2.18	1	0.01	138	0.69	
兵庫県	2	0.01	51	61	0.47	39	0.30	472	3.66	59	0.46	338	2.62	2	0.02	86	0.67	
奈良県	-	-	3	3	0.09	5	0.15	73	2.15	9	0.26	88	2.59	1	0.03	7	0.21	
和歌山県	-	-	20	11	0.37	3	0.10	57	1.90	11	0.37	90	3.00	1	0.03	15	0.50	
鳥取県	-	-	5	13	0.68	25	1.32	66	3.47	15	0.79	47	2.47	-	-	11	0.58	
島根県	-	-	48	32	1.39	10	0.43	131	5.70	7	0.30	104	4.52	1	0.04	23	1.00	
岡山県	-	-	11	16	0.30	16	0.30	251	4.65	23	0.43	139	2.57	2	0.04	20	0.37	
広島県	-	-	74	103	1.43	78	1.08	270	3.75	50	0.69	87	1.21	1	0.01	36	0.50	
山口県	1	0.01	112	24	0.51	68	1.45	180	3.83	23	0.49	64	1.36	-	-	32	0.68	
徳島県	2	0.05	19	2	0.09	16	0.73	92	4.18	11	0.50	83	3.77	-	-	30	1.36	
香川県	-	-	20	8	0.27	11	0.37	95	3.17	13	0.43	66	2.20	-	-	11	0.37	
愛媛県	6	0.10	58	8	0.22	23	0.62	154	4.16	6	0.16	187	5.05	1	0.03	28	0.76	
高知県	-	-	12	16	0.53	12	0.40	36	1.20	17	0.57	152	5.07	-	-	11	0.37	
福岡県	-	-	316	125	1.04	151	1.26	568	4.73	147	1.23	170	1.42	2	0.02	97	0.81	
佐賀県	-	-	67	60	2.61	18	0.78	32	1.39	12	0.52	15	0.65	-	-	10	0.43	
長崎県	-	-	46	116	2.64	35	0.80	150	3.41	29	0.66	80	1.82	1	0.02	20	0.45	
熊本県	-	-	91	79	1.58	40	0.80	320	6.40	27	0.54	63	1.26	1	0.02	48	0.96	
大分県	-	-	9	108	3.00	31	0.86	310	8.61	19	0.53	59	1.64	-	-	35	0.97	
宮崎県	-	-	101	75	2.08	34	0.94	202	5.61	49	1.36	121	3.36	2	0.06	39	1.08	
鹿児島県	1	0.01	112	65	1.18	44	0.80	231	4.20	25	0.45	171	3.11	-	-	26	0.47	
沖縄県	42	0.72	18	45	1.32	16	0.47	85	2.50	20	0.59	37	1.09	-	-	15	0.44	

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年36週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	33	0.01	3629	1.15	657	0.21	8	0.01	520	0.76	6	0.01	38	0.08	151	0.32	14	0.03
北海道	1	0.01	481	3.36	10	0.07	-	-	3	0.10	-	-	-	-	5	0.22	-	-
青森県	-	-	156	3.80	16	0.39	-	-	5	0.45	-	-	-	-	5	0.83	-	-
岩手県	-	-	123	3.08	21	0.53	-	-	2	0.14	-	-	1	0.05	10	0.53	-	-
宮城県	-	-	115	1.98	13	0.22	-	-	3	0.25	-	-	1	0.08	8	0.67	-	-
秋田県	-	-	93	2.74	9	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.50	-	-
山形県	-	-	73	2.43	9	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.70	-	-
福島県	-	-	83	1.84	24	0.53	-	-	7	0.58	-	-	1	0.14	5	0.71	-	-
茨城県	-	-	33	0.44	4	0.05	-	-	17	1.00	-	-	1	0.08	1	0.08	-	-
栃木県	-	-	64	1.33	6	0.13	-	-	4	0.33	-	-	-	-	5	0.71	1	0.14
群馬県	-	-	65	1.08	14	0.23	1	0.07	14	1.00	-	-	1	0.13	7	0.88	-	-
埼玉県	-	-	102	0.65	41	0.26	1	0.02	25	0.60	-	-	2	0.20	6	0.60	1	0.10
千葉県	2	0.01	79	0.59	26	0.19	-	-	17	0.52	-	-	-	-	1	0.11	4	0.44
東京都	1	0.00	228	0.89	58	0.23	1	0.03	20	0.53	2	0.08	4	0.16	4	0.16	-	-
神奈川県	2	0.01	194	0.95	45	0.22	4	0.09	48	1.09	-	-	-	-	3	0.30	1	0.10
新潟県	3	0.05	224	3.67	10	0.16	-	-	3	0.30	-	-	-	-	8	0.62	4	0.31
富山県	-	-	40	1.38	1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60	-	-
石川県	-	-	19	0.66	3	0.10	-	-	2	0.29	-	-	-	-	4	0.80	-	-
福井県	-	-	18	0.82	32	1.45	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50	-	-
山梨県	-	-	14	0.58	6	0.25	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.10	-	-
長野県	1	0.02	153	2.83	2	0.04	-	-	2	0.18	-	-	-	-	7	0.64	-	-
岐阜県	-	-	28	0.53	13	0.25	-	-	4	0.36	-	-	-	-	4	0.80	-	-
静岡県	2	0.02	119	1.34	8	0.09	-	-	22	1.00	-	-	2	0.20	1	0.10	-	-
愛知県	3	0.02	169	0.93	38	0.21	-	-	10	0.29	2	0.15	-	-	8	0.62	-	-
三重県	-	-	96	2.13	2	0.04	-	-	3	0.25	-	-	-	-	3	0.33	-	-
滋賀県	-	-	28	0.88	2	0.06	-	-	2	0.25	-	-	-	-	3	0.43	-	-
京都府	1	0.01	40	0.55	10	0.14	-	-	15	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	161	0.81	19	0.10	-	-	37	0.71	-	-	-	-	3	0.18	-	-
兵庫県	1	0.01	134	1.04	20	0.16	-	-	40	1.14	-	-	-	-	2	0.18	1	0.09
奈良県	-	-	24	0.71	2	0.06	-	-	5	0.56	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	34	1.13	-	-	-	-	5	1.25	-	-	-	-	2	0.18	-	-
鳥取県	5	0.26	17	0.89	2	0.11	-	-	-	-	-	-	2	0.40	2	0.40	-	-
島根県	-	-	13	0.57	1	0.04	-	-	2	0.67	-	-	4	0.50	4	0.50	1	0.13
岡山県	1	0.02	30	0.56	5	0.09	-	-	16	1.33	-	-	-	-	1	0.20	-	-
広島県	1	0.01	37	0.51	12	0.17	-	-	14	0.74	-	-	3	0.14	2	0.10	-	-
山口県	-	-	19	0.40	6	0.13	-	-	10	1.11	-	-	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	-	-	16	0.73	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	32	1.07	2	0.07	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	33	0.89	11	0.30	-	-	20	2.50	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-
高知県	-	-	31	1.03	28	0.93	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13	1	0.13
福岡県	3	0.03	29	0.24	66	0.55	-	-	16	0.62	-	-	3	0.23	1	0.08	-	-
佐賀県	-	-	5	0.22	7	0.30	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	3	0.50	-	-
長崎県	-	-	3	0.07	14	0.32	-	-	13	1.63	1	0.08	1	0.08	2	0.17	-	-
熊本県	-	-	38	0.76	1	0.02	-	-	20	2.22	-	-	5	0.33	-	-	-	-
大分県	1	0.03	47	1.31	13	0.36	-	-	4	0.80	-	-	-	-	2	0.18	-	-
宮崎県	1	0.03	37	1.03	7	0.19	-	-	25	4.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	43	0.78	10	0.18	-	-	7	1.00	-	-	1	0.08	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	9	0.26	8	0.24	1	0.10	51	5.10	1	0.14	1	0.14	7	1.00	-	-

報告数・疾病・都道府県別
 2013年36週

	インフルエンザ (入院患者)
	報告数
総 数	3
北海道	-
青森県	-
岩手県	-
宮城県	-
秋田県	-
山形県	-
福島県	-
茨城県	1
栃木県	-
群馬県	-
埼玉県	-
千葉県	-
東京都	-
神奈川県	-
新潟県	-
富山県	1
石川県	-
福井県	-
山梨県	-
長野県	-
岐阜県	-
静岡県	-
愛知県	-
三重県	-
滋賀県	-
京都府	-
大阪府	-
兵庫県	-
奈良県	-
和歌山県	-
鳥取県	-
島根県	-
岡山県	-
広島県	-
山口県	-
徳島県	-
香川県	-
愛媛県	-
高知県	-
福岡県	-
佐賀県	-
長崎県	-
熊本県	-
大分県	-
宮崎県	-
鹿児島県	-
沖縄県	1

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年36週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2013年36週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第36号 2013年9月24日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
 < 国立感染症研究所 感染症疫学センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。